

日本歯科大学 新潟生命歯学部

The Nippon Dental University School of Life Dentistry at Niigata



2019

2つの歯学部——学生諸君へ

日本歯科大学は、明治40年に創立されました。それから65年後の昭和47年に、第2歯学部として新潟歯学部を増設しました。

明治の当時も昭和の当時も、歯科医師が過少という医療状況にあって、本学は、国民社会の要請に即応したのです。その結果、本学は、2つの歯学部を有する唯一の歯科大学、となりました。

第2歯学部の基本構想は、東京の既存の歯学部とは違う歯学部を造ることでした。そこで、地方都市に新しい特色あるキャンパスをめざして、まだ裏日本といわれていた日本海側の新潟市を選定しました。すでに、上越新幹線の開通計画がありましたので、東京の歯学部と新潟歯学部を結ぶ日帰り圏という立地であることも、選定の理由になりました。

東京の歯学部は皇居と外濠の間に位置する首都の中心地にあります。また新潟歯学部は、政令指定都市の中心地に緑豊かなキャンパスが広がります。

首都東京に憧れをもつ諸君は多いでしょう。一方、ローカル色を好む諸君も少なくありません。東京の歯学部も新潟歯学部も、どちらも魅力あり良い所が沢山あります。

そのいずれが自分に合うか、を判断基準にすることをお勧めします。どちらを選んでも6年後には、飯田橋あるいは新潟市が第2の故郷となるでしょう。

さらには、東京の歯学部で学んでも新潟歯学部で学んでも、諸君は同じ日本歯科大学の卒業生として巣立っていきます。同じ年の卒業生は、東京・新潟ともに同級生なのです。

卒業後には、日本歯科大学卒として日本歯科大学校友会に所属します。そして、同じ釜の飯を食った仲間として、また同じ仕事に携わる職業人として、大きな強い絆で結ばれます。

私は、日本歯科大学を卒業して後悔した人はいない、と信じています。

学校法人
日本歯科大学理事長
日本歯科大学学長

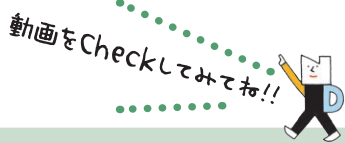
中原 泉

学校法人
日本歯科大学理事長
日本歯科大学学長
中原 泉





歯科医療の 新時代をリードする 日本歯科大学



スマートフォンやタブレット端末などでQRコードを読み取ると動画を見ることができます。パンフレット内に数カ所ありますので探してみてください。

歯科界の源流として

日本歯科大学は、中原市五郎によって、明治40年(1907)6月、公立私立歯科医学校指定規則に基づくわが国最初の歯科医学校として創立されました。当時、歯科医療は黎明期にあり、「学・技両全にして人格高尚なる歯科医師の養成」を建学の目的としました。そして歯・顎・口腔の医学を教導し、学・術・道を兼ねそなえた歯科医師を輩出し、歯科医学の進展、歯科医療の向上、患者国民の福祉に尽力しました。

私学として創立者の「自主独立」という建学の精神を継承し、平成28年(2016)に創立110周年を迎えました。この110年におよぶ歴史と伝統は、本学がわが国の“歯科界の源流”といわれる由縁であります。

世界最大の歯科大学である

日本歯科大学は、現在、歯科医学の総合的の大学として、2つの歯学部を有する



唯一の歯科大学です。東京と新潟の両キャンパスを合わせて、2つの大学院研究科、2つの歯学部、3つの附属病院、2つの短期大学、および博物館などを擁し、学生総数約2,000名、専任教職員数約1,000名、および卒業生総数約20,000名を数えます。

本学は、まぎれもなく世界最大の歯科大学であります。

「生命歯学部」のフロントランナーとなった

日本歯科大学は、学部等の名称を『生命歯学部』に変更しました。これは、歯科医学は生命体を学ぶ学問であり、歯科医療は生命体への医行為であることから、生命科学のレベルに相応しいネーミングとして、生命という2字を冠したのです。これによって、歯科学生と歯科医師の意識を改革し、患者国民の歯科に対するイメージを一新することを期しています。

フロントランナーとして投じたこの一石が、歯科界はじめ患者国民の意識革命を促すものと信じています。

NIIGATA

新潟生命歯学部

- 新潟病院
- 医科病院
- 先端研究センター
- 図書館
- 医の博物館
- 在宅ケア新潟クリニック

大学院 新潟生命歯学研究科

新潟短期大学 歯科衛生学科

学校法人
日本歯科大学

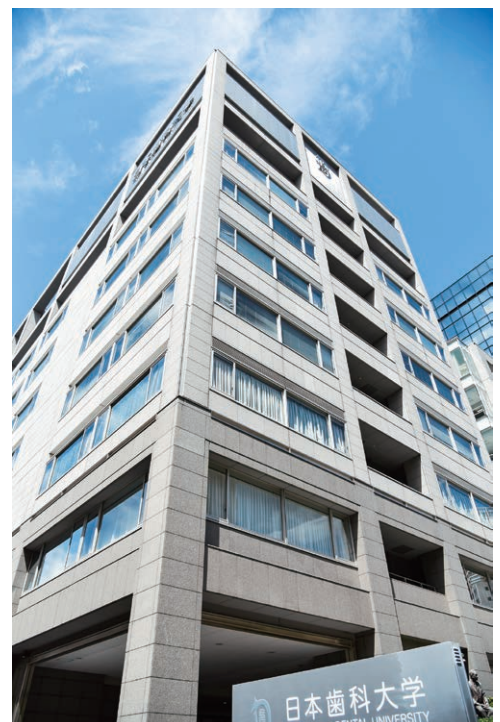
TOKYO

生命歯学部

- 附属病院
- 共同利用研究センター
- 図書館
- 口腔リハビリテーション
多摩クリニック

大学院 生命歯学研究科

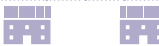




東京短期大学 歯科技工学科
歯科衛生学科



日本歯科大学生命歯学部

01

世界最大の歯科大学

大学院		2
歯学部		2
病院		3
短期大学		2
博物館		1

02

世界最多の歯科大学卒業生数



総数2万余名、現在1万2千余名

03

わが国歯科大学唯一の
三桁の卒業回数



第107回卒業式(新潟生命歯学部)

個性あふれる 伝統の日本歯科大学



校章



シンボルマーク



100周年記念シンボルマーク



07

東京都の中心・飯田橋に
位置する地の利

TOKYO

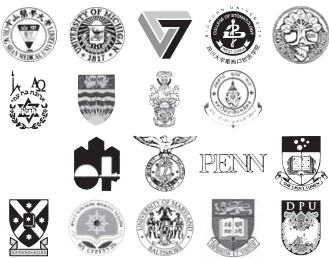


飯田橋

11

わが国歯科大学最多、
16カ国18大学と国際姉妹校提携

p42



12

ブリティッシュ・コロンビア大学、
ワシントン大学と「交換留学」29年間

p36



ブリティッシュ・コロンビア大学のキャンパスにて

13

わが国歯科大学最多の
大学ワークショップ開催

p58



合同ワークショップ

17

わが国唯一の訪問歯科診療科
「訪問歯科口腔ケア科」

p30

NIIGATA



出発前に新潟病院でのミーティング



往診器具を専用車に積み出発します

18

私立歯科大学初、附属病院の
日本医療機能評価機構の認定

TOKYO



日本歯科大学附属病院

19

わが国唯一の口腔リハビリテーション
専門医院「多摩クリニック」

TOKYO



口腔リハビリテーション多摩クリニック

22

歯の幹細胞による
歯の再生の研究

TOKYO

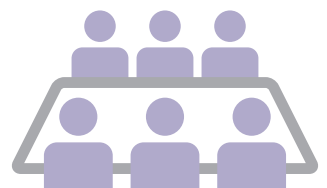


歯の体外培養再生

23

私立大学最初の
「特定再生医療等委員会」の設置

TOKYO



04 わが国唯一の「生命歯学部」の学部名



新潟生命歯学部

05 2つの歯学部を有する唯一の単科大学



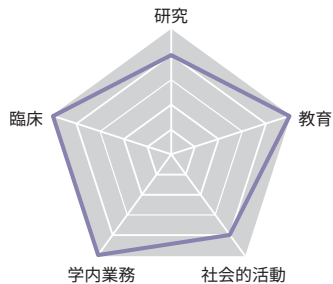
06 わが国初の歯科医学校

旧歯科医師法の制定に伴い、明治40年に設立されました。

日本歯科大学の前身、私立共立歯科医学校が創立された東京都千代田区大手町にある「日本歯科大学発祥の地」の碑

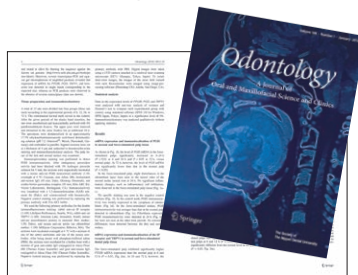


08 本学教員評価法の確立



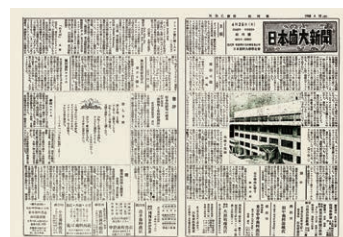
09 IFを有する国際歯科学術誌『Odontology』の刊行

p40



10 わが国最古級の大学新聞『日本歯科大学新聞』の刊行

p56



日本歯科大学新聞創刊号(昭和23年)

14 わが国唯一の総合歯科医学事典『常用歯科事典』の刊行



15 わが国唯一の公的医学博物館「医の博物館」

p54

NIIGATA



医の博物館内部

16 わが国唯一の歯科病院と併設の医科病院

p29

NIIGATA



内科診療

20 最先端の臨床基礎実習施設

p34



マルチメディア臨床基礎実習室(新潟生命歯学部)

21 学生実習用患者ロボット「シムロイド」の開発

TOKYO



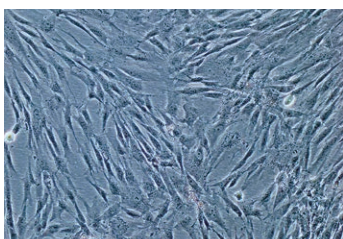
患者ロボット「シムロイド」



耳鼻咽喉科診療

24 歯髄幹細胞による肝硬変等治療の研究

TOKYO



歯髄幹細胞

25 わが国歯科大学唯一の再生医療のための「歯の細胞バンク」設立

TOKYO



細胞培養加工施設

26 わが国歯科大学最初の訪問歯科専門の診療所「在宅ケア新潟クリニック」

NIIGATA



在宅ケア新潟クリニック



学ぶ

知識と技術は、車の両輪です。この2つが相まって力を発揮するのです。本学では、6年間の知識の習得を、一般教育系科目、歯科基礎系科目、臨床系科目へとグレードを上げながら、カリキュラムにしたがって学びます。知識は技術の裏付けとなるものですから、徹底的に習得することが必要です。学びの環境が整った日歯新潟で学んでみてはいかがでしょうか。



育む

出会いは、いつも新鮮です。大学に出会い、クラスメートに出会い、教師に出会い、患者さんに出会い……。さまざまな出会いのなかで、豊かな人間性と教養人としての素養を磨き、歯科医師としての優れた見識を養うことが大切です。日歯新潟で過ごす6年間の多くの出会いによって自然と「思いやりの心」が身についていることでしょう。ここには人を育むすばらしい環境があります。



磨く

繰り返し、根気よく訓練することが技能の習得には欠かせません。講義でしっかり習得した知識が実習をスムーズに運ぶポイントです。よくいわれる、器用とか不器用とかは関係ありません。訓練次第で乗り越えることが可能なのです。できるまで、何度も何度もチャレンジすることで、歯科医師として、人として大切な忍耐力も磨かれます。たゆまぬ努力こそ、歯科医師への早道といえるでしょう。

プロフェッションを意識した 歯科医師を目指す

本学は創立以来、自立して歯科医療を担うことができる医療倫理観をそなえた歯科医師の育成に努めています。医学の一領域・人体の健康を担う医療人として、歯だけでなく生命体に対する医療行為として学ぶことに力を入れています。

新潟生命歯学部は、6年一貫制のカリキュラム編成にしたがい、一般教育から、基礎、臨床教育へと効率的で整合性のある講義・実習を実施しています。

さらに、自己学習能力やコミュニケーション

の能力を高めるために、PBLテュートリアル教育(問題基盤型学習)を積極的に取り入れています。

また、第5学年での新潟病院の臨床実習と並行して保健所、福祉施設、保育園でのフィールド実習も行っています。歯学生が医療チームの一員として医療行為の一部を行い、歯学生として責任を負うことによって、歯科医師となるために必要な知識・技能のみならず態度や価値観などプロフェッショナルリズムを身につけることができます。





日歯新潟の魅力にせまる！

日歯新潟で学び、徐々に大学生活に慣れてきた2年生の茂木さん、毎日実習で忙しい毎日を送る5年生の櫻木君、そして昨年卒業し、新潟病院で臨床研修歯科医をしていた武内先生に本学の魅力や大学生活について語りあってもらいました。

(座談会当時は茂木さんは1年生、櫻木君は4年生です)



どうして歯科医師に？

茂木 武内先生は歯科医師を目指したきっかけは何ですか？

武内 実は管理栄養士になろうと思って、そのための大学に入っていたんだけど、管理栄養士が完璧に栄養を考えた食事でも、お口の中の状態が良くないと食べてもらえないということを知り、それならば歯科医師になって食事ができる手助けをできればと思い、本学に入学しました。櫻木君と茂木さんは？

櫻木 実家が歯科医院だったことが大きいですね。父が歯科医師で子どもの頃から仕事をしている姿を見ていたので、自然と歯科医師を目指して

ていました。また、物を食べたり、話すことで欠かすことのできないとても大切な口を診ることができることにも魅力を感じました。

茂木 私も両親が歯科医師で実家が歯科医院ということもあり、物心がついた頃には歯科医師を目指していました。本学には、オープンキャンパスに参加した時に、先生方の熱心な話や充実した施設を目の当たりにして、この大学で学びたいと思い入学しました。ところで、武内先生は新潟病院で臨床研修歯科医をなさっていますが、どんなことをしているのですか？

武内 保険診療についての勉強をしながら、メインはやっぱり患者さんの診療ですね。指導医の先生にチェックしてもらいながら治療をします。初診の患者さんだと、今後の治療計画を自分で立てて治療を進めていきます。

茂木 治療していて困ったこととかはありますか？

武内 たくさんあるよ。実習書に載っていないイレギュラーなこともたくさん起こります。例えば、患者さんのお口が開かなくて、器材がお口になかなか入らなかったりすることあって、その都度、指導医の先生に教えてもらっています。

櫻木 5年生でも病院実習で患者さんの治療をすると思うのですが、違いはあるのですか？

武内 やっぱり責任が違いますね。5年次の病院実習では一部患者さんの治療はさせていただく



茂木 里恵
Satoe MOGI

新潟生命歯学部2年
【山形県酒田市出身】

ど、研修歯科医は最後まで自分で責任をもって治療します。また、患者さんに触れる機会や使用する器材も多いですし、難しい症例もありますね。

茂木 歯科医師として実際に働かれてどんなところが魅力でしょうか？

武内 お医者さんだと、1回の処置で症状がなくなるというケースはほとんどないと思いますが、歯科医だと歯の痛みを訴えて来院した患者さんを治療することで、すぐに痛みから解放してあげられる可能性が高いところですね。また、患者さんからおいしく物を食べることができるようになったと感謝されるとよかったと思いますし、やりがいを感じますね。

勉強の悩みそれぞれ

茂木 第1学年の授業は教養科目が多く、歯科医師になるための具体的な授業が少ないのですが、そうした教養科目の授業は歯科医師になるために活かされてくるのでしょうか？

武内 1年生の授業はたしかに歯科医師になるために必要な専門的な授業は少ないですけど、実は教養科目のなかでも国家試験に関係する科目もあります。例えば、物理ではタービンの回転について計算する問題や、放射線についての問題が出題されたことがあります。それだけでなく、教養科目でしっかり勉強するというベースを作って次年度に備えた方がいいと思いますよ。また、今の1年生のカリキュラムは理工学や衛生学の授業もあるから、モチベーションも維持できるよね。

茂木 武内先生の1年生の時はなかったのですか？

武内 うん、なかったよ。理工学や衛生学はもちろん国家試験に出るから、時間のある1年生の時からしっかり頭に入れておくといいね。櫻木君は何かあるかな？

櫻木 4年生になると毎日実習があって、中でもクラウンブリッジや精密印象をとるのが細かい作業で大変です。また、実習が多いので、CBT^{*1}の勉強も平日になかなかできないのですが武内先生はどのように勉強していましたか？

武内 4年生は毎日実習があるから大変だよ。私の経験だと、精密印象は4年生でしっかりと頑張っていた人は5年生の病院実習でもきっちりできていて、逆に怠けている人は苦労していました。大変だけど、できるようになるまで何度も繰り返して4年生のうちにうまくとれるように練習した方がいいよ。CBTの勉強はたしかに平日は実習に

追われるので、私は土日に勉強していましたね。あとは、朝早くに学校に来て勉強する人もいたよ。櫻木君は電車通学なんだっけ？

櫻木 はい、約1時間は電車に乗っています。

武内 それなら、通学の時間もうまく使うといいよね。

櫻木 それと最近では徐々に国家試験を意識するようになってきました。5年生になると病院実習が始まるので、今と一緒に勉強する時間の確保が大変かと思うのですが……。

武内 とにかく毎日少しずついいから続けることが大事。それと、体に染みつくくらい何度も反復するといいですね。というのも、国家試験では必修問題というのがあって8割以上正解しないと、無条件で不合格になってしまう。そういった必修問題はみんな高い正答率になるので、他の人が正解している問題は絶対に間違えるわけにはいかないんです。そのためにも、受験当日は頭が真っ白になったりするケースもあると思うので、何度も反復することで反射的に正解を出せるようにしておくといいかな。それと、6年生から国家試験の勉強を始めるのは少し遅いので、今のうちからコツコツ始めてみてください。

日歯新潟の魅力は？

茂木 武内先生は大学時代を通じて、本学の魅力はどのようなところにあると思いますか？

武内 そうだね、たくさんあるけれど特にあげるとしたら、マルチメディア臨床基礎実習室に一人一台最新の実習機が備わっているところかな。本学にはその他にもIT教室や学習室など、施設面では充実していると思います。それと、キャンパス周辺は自然が豊富な点ですね。近くには海があるので、夏はよくバーベキューしましたね。友達が大学の周辺にたくさん住んでいるのもよかったなあ。夜遅くまで終電を気にすることなく大学や、友達の家で勉強したり遊んだりしましたね。

櫻木 僕も今マルチメディア臨床基礎実習室で実習していますが、先生のおっしゃるように実習機が一人一台ということもそうですし、実習室は使いやすくていいですね。カリキュラムも座学で学



武内 柚香里
Yukari TAKEUCHI
日本歯科大学
新潟生命歯学研究所
歯周機能治療学
[新潟県加茂市出身]

*1 CBT
コンピューターを使用した選択式の試験。4年生の学期末に行われ、合格基準は7割以上の正答率。



櫻木 健太
Kenta SAKURAGI

新潟生命歯学部5年
[新潟県田上町出身]

*2 ESS
英語会話のクラブ活動。

*3 SCRP
学生が主体となって研究を行
い、学会発表を目的とするク
ラブ活動。

んだことを実習で実際に手を動かして学ぶことができるので、頭に入りやすいです。また、実習でわからなかったところなどを先生や先輩によく質問するのですが、みなさん優しく丁寧にわかるまで教えてくださいます。そういったところもとても好きですね。

茂木 本学は大規模な大学ではないので、キャンパス内で先輩や先生とよく会うところが良いですね。クラスメイト

だけでなく、先輩後輩などのつながりが強く持てると思います。また、武内先生がおっしゃっていたように大学の周辺環境も良いですね。勉強の合間に息抜きできる自然環境は魅力たっぷりです。週末には万代周辺に行ってショッピングなどでリフレッシュもできます。

櫻井 武内先生はクラブ活動に入っていましたか？

武内 麻酔学グルンド、ESS*²、SCRP*³に入っていました。二人は何か入っているの？

櫻井 僕は温泉卓球同好会に入っています。

茂木 私も温泉卓球同好会と麻酔学グルンド、ワンダーフォーゲル、野球部のマネージャーをしています。武内先生はクラブ活動に関してどう思われますか？

武内 クラブ活動をすることはとてもいいことだと思います。普段の授業や実習で忙しいなかでも息抜きにもなるし、とても充実していました。特にクラブ活動をすることで、タテのつながりができることがいいですね。歯科医師になってからも、当時から仲が良かった先輩にはよく相談もしたり

するので、一人でも多くの人とつながりを持っていた方がいいと思います。

これからの目標について

茂木 先生は今後どのような進路をお考えですか？

武内 臨床研修歯科医を終えたら、本学の大学院で歯周病を学ぼうと思っています。そこで学びながら、ゆくゆくは歯周病の認定医や専門医の資格を取って、より専門性の高い治療などを行えたらいいなと思っています。二人はどんな歯科医師になりたいという目標はある？

茂木 将来歯科医師になったら、実家に戻って家族で診療したいのと、実家では訪問診療もやっていて、もともとお年寄りと接することが好きなので、訪問診療ができる歯科医師になりたいです。

武内 本学は訪問診療には特に力を入れていて、5年生の病院実習でも訪問歯科口腔ケア科の一員として施設や患者さんのご自宅を訪問します。なので、訪問歯科についてはどこの大学よりもしっかりと学べますので、楽しみにしてください。

櫻木 僕も実家に帰って診療しようと思っ
ていますが、専門的な知識を持って帰りたいなと思っています。

武内 それならば、研修歯科医の後に大学院に入って勉強するのもいいし、本学の新潟病院には専門研修医というコースがあって、認定医や専門医を取得する、臨床に特化した研修医のコースがあるのでそこに入るのも一つの選択肢だね。では、そろそろ時間になってきたので、この座談会の記事を最後まで読んでくれた学生さんに伝えたいことはあるかな。

茂木 毎日が充実した大学生活を送ることができていますので、もし、どこの歯科大学に進学しようか迷っているのであれば自信をもって本学をお勧めします。

櫻木 本学の魅力の一つである、クラスメイトやタテのつながりがとても強いことは歯科医師を目指すだけでなく、その後の人生を考える上でも心強いことだと感じます。ぜひ、新潟生命歯学部と一緒に学びましょう。

武内 臨床実習室などの充実した施設や、自然豊かなキャンパスなど、歯科医師になるための学びの環境は十分に整っています。新潟は特に海産物やお米などの食べ物もおいしいですし、ぜひさまざまな地域から新潟に学びに来てもらえればと思います。



日本歯科大学新潟生命歯学部図書館にて

建学の精神と目的

本学は、その創立以来建学の精神を「自主独立」、学校の目的を「学・技両全にして人格高尚なる歯科医の養成」と定め、百年を超える年月において脈々と継承している。

基本理念

本学は、高等教育機関として、広く知識を授けるとともに、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的および応用能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする。

教育目標

1. 幅広い教養と倫理観を持った医療人の育成
2. 問題を発見し解決する能力を持った医療人の育成
3. コミュニケーション能力のすぐれた医療人の育成
4. 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人の育成
5. 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人の育成
6. 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人の育成
7. 僻地医療や高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人の育成
8. 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人の育成
9. 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人の育成
10. 世界をリードする国際性を有する医療人の育成

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

本学は基本理念と教育の目標を達成するために、十分な学力と高い目標意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人を求めています。



Message

20年後の 歯科界の風を感じる 歯科大学



藤井 一維 | 日本歯科大学
Kazuyuki FUJII | 新潟生命歯学部 学部長

新潟生命歯学部は、昭和47年(1972)の増設以降、次々と新しいことに取り組んできました。

歯科病院に全国で唯一併設されている医科病院は、「歯科で臨床医学?」と思われていた時代に全国の歯科大学ではじめて医科病院を開院しました。また、今から30年前、世の中が「これから高齢化社会が来るかもしれない」と思いはじめたものの、「歯医者者の訪問診療」など誰もが考えもしなかった時代から、在宅往診ケアチーム(現在の訪問歯科口腔ケア科)を行っています。

そして31年目の今年、外来患者を受けない訪問診療専門のクリニックを近隣の三条市に歯科大学・歯学部としてはじめて開設しました。

このように、本学は、常に生命体との関連性や社会の変化に対応できることを念頭におき、6年一貫性教育によるカリキュラムを編成し、口腔と全身を診ることのできる、20年、30年

先の歯科界で生き抜ける歯科医師の養成を目指しています。

特に、世界でも類を見ない超高齢社会を迎えるにあたり、訪問歯科医療や口腔ケアの施行、医師・看護師・薬剤師・介護関係者など歯科医療従事者以外の多職種とも連携して地域包括ケアシステムに順応できる地域密着型の歯科医師の育成を重視しています。

また、これからの歯科医師は、子どもから高齢者までの「食」を指導する時代になります。これに対応すべく、一昨年、食育・健康科学講座を歯科大学ではじめて開設し、講義に取り入れています。

本学は、社会のニーズが「むし歯を治療する歯科医師」から「健やかに生きるを守る歯科医師」へと大きく変化している時代に対応する、この変化の風を感じる歯科大学です。

新潟で学ぶ、日歯大で学ぶ、学びの理想がここにある

① 充実した臨床研修の場——新潟病院・医科病院

日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスには、新潟病院と医科病院があります。新潟病院は歯、顎、口腔の総合医療施設です。医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、新潟病院と同様に入院施設も備えます。本学の学生は、第5学年における臨床実習で新潟病院はもちろん、医科病院でも実習があります。近年の歯科分野は口腔だけでなく全身にも多く関係します。このような時代に即した臨床実習が行えるのは新潟生命歯学部の大きな特長となっています。

➡ p28-29



新潟病院で実習する東京の学生

第5学年の臨床実習では、東京の生命歯学部とも交流があります。新潟の学生は東京の附属病院で、東京の学生は新潟の新潟病院、医科病院で実習を行います。

➡ p27



医科病院での内視鏡検査見学



新潟病院での手術見学



医科病院



新潟病院

② 在宅歯科診療の先駆け

新潟病院では、開院以来地域歯科医療の拡充に務めてきました。寝たきりなどの事情で来院できない高齢者や障害者を対象として、1987年から全国歯科大学に先駆けて「訪問歯科診療」を行っています。本学の学生も、チームの一員として参加し各家庭や施設をまわり、在宅歯科医療の重要性を学びます。まだ記憶にも新しい2011年3月の東日本大震災ではいち早く被災地に医員を派遣し、口腔ケア支援活動や亡くなられた方の歯科的身元確認にあたりました。

➡ p30-31



訪問歯科診療

教育、施設、環境、臨床、研究……など、日本歯科大学新潟生命歯学部の魅力は数多くあります。学びの理想、新潟生命歯学部のおもな特長をご紹介します。

3 学習に適したさまざまな施設

新潟生命歯学部の学内には、いたるところに洗練された学びの環境があります。最新のIT機器やシステムを備えたマルチメディア臨床基礎実習室は第1学年から実習で使われます。自習の場としても、図書館や放課後の教室はもとより、ITセンター、学習室、セミナー室、レストラン(GAKUSHOKU)やロビーなどでも夜遅くまで学生たちが学んでいます。 ➔ p16-17 p34-35



ITセンター



マルチメディア臨床基礎実習室

4 安心・安全な女子寮も完備

大学から徒歩5分という絶好のロケーションに新潟生命歯学部新潟寮(女子寮)があります。オートロックで管理人さんも常駐していますのでセキュリティ面もバッチリです。先輩も同期も歯科医師を目指すという目標を持った学生同士、ときに競い合い、ときに教え合い、ときに励まし合いながらともに学生生活を過ごします。歯科大学ならではの技工室も完備しています。女性のみ入寮可です。 ➔ p44



新潟女子寮

5 国際交流を重視

日本歯科大学には世界に18の姉妹校・協定校があります。特にカナダにあるブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)とは積極的に交流を行っています。ほかにも、台湾の中山医学大学、タイのマヒドン大学、中国の四川大学華西口腔医学院なども盛んに交流しています。また、IUSOH(口腔保健のための国際姉妹校連合)を結成し、グローバルな学術展開を行っています。 ➔ p36-37 p42-43



ワシントン大学への交換留学



ブリティッシュ・コロンビア大学への交換留学

6 国内唯一の医学博物館

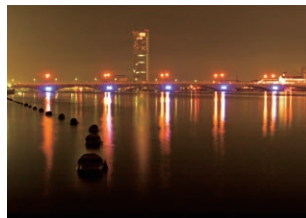
医の博物館は、日本初の、また唯一の医学博物館として平成元年(1989)9月に開館しました。歴史的資料(史料)を通じて医学史を教育研究し、史料を一般公開することにより、学術文化に寄与することを目的としています。歯科のみならず、医学や薬学に関する史料(15世紀から現在までの東西の古医書、浮世絵、医療器械器具、薬看板、印籠など)約5,000点を展示、保管しています。 ➔ p54



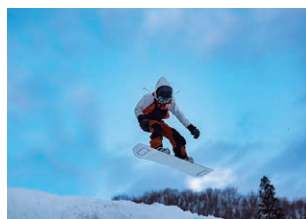
医の博物館

7 魅力あふれる都市、新潟

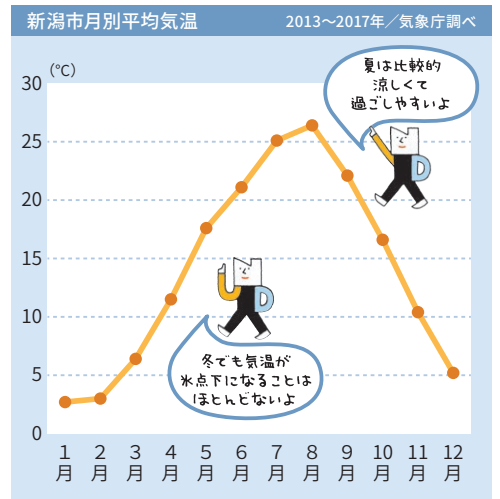
日本海側最大の都市新潟。なかでも日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスは、新潟市中央区の緑も多く残る住宅街にあります。新潟駅周辺は大型店舗やファッションビルなどが並び、多くの人でにぎわっています。交通のアクセスも良く、東京までは新幹線で約2時間、沖縄や北海道にも新潟空港から直行便があるので短時間で行き来できます。新潟市内は気候も穏やかで、1、2月でも氷点下になることはほぼなく、雪も少なく、住みやすい環境です。さらに、新潟県内にはちょっと足を伸ばせば魅力的な観光スポットも多くあり、冬にはウィンタースポーツも気軽に楽しめます。



ライトアップされた萬代橋

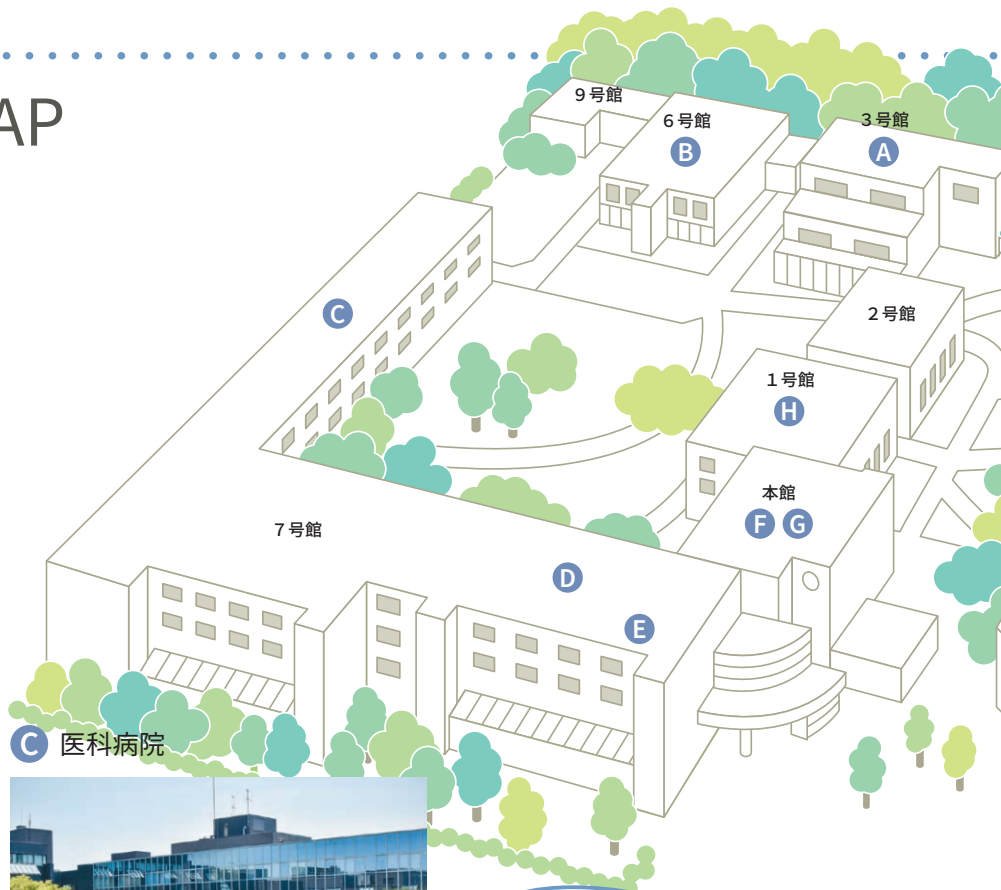


ウィンタースポーツも楽しめる



➔ p52-53

NDU CAMPUS MAP



A 日本歯科大学新潟短期大学



歯科衛生士を養成します。

B 先端研究センター



最先端の研究を行っています。

C 医科病院



内科、外科、耳鼻咽喉科があります。

大学施設の
内部をWEBから
覗いてみよう!



← Googleインドアビュー

D 新潟病院



8つの診療科、12の診療センターと特殊外来を持つ、歯・顎・口腔の総合病院。

E コンビニエンスストア



通常のラインナップに加え、歯ブラシなどの歯科用品も取り扱っています。

F 図書館



8万5千冊の蔵書、800を超える学術雑誌が収蔵されています。

G 学習室



静かな環境で落ち着いて学習できます。

H マルチメディア臨床基礎実習室



1号館の2階にある最新のIT機器とシステムを備えた実習室。

I 講堂



入学式・卒業式、学術講演などに使われます。

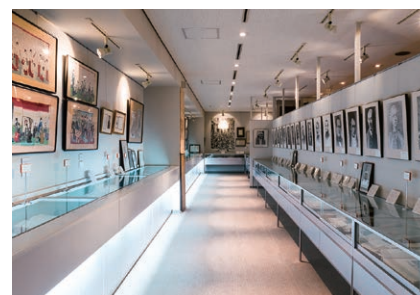


J GAKUSHOKU



ランチタイムには多くの学生で賑わいます。

K 医の博物館



日本で初めて開設された公的な医学博物館です。

L セミナー室



4号館の2階にあり、グループ学習や夜間の課外勉強に利用されています。

M 学生会館



クラブの部室、剣道・柔道など武道系の道場があります。

N 体育館



建物の2階部分が体育館になっています。

O トレーニングルーム



ランニングマシンやエアロバイクなどさまざまなトレーニングマシンがあります。

P グラウンド



全面に人工芝を敷いたグラウンドはサッカーなどのクラブ活動で使用されています。

ロビー



各講義室の前にはロビーがあり、放課後には自習等にも使用されています。

新潟生命歯学部 の 6 年間

歯学部 の 6 年間は、知識の習得、技術の習得はさることながら、全人的医療、患者さんの立場にたった心ある医療人であるために不可欠なコミュニケーション教育を重視しています。

医療人初期教育と語学教育、PBLテュートリアル教育を行っています。

1 学年

- 熱と物質の物理
- 生体物質の化学
- 細胞の生物学
- 基礎科学演習
- 自然現象の数学
- 歯学入門実習
- 初年次セミナー
- 総合英語
- 実用医学英語 I
- 基礎独語
- プロフェッション
- 基礎科学補講 I
- 基礎科学補講 II
- 基礎科学演習
- 情報科学の実習
- 国語表現法
- 歯科医学入門演習 (PBL)
- 社会学
- 経済学
- ドイツの生活と情報
- 青年心理学
- 環境学の基礎
- 医学概論・歯科医学史
- ファンダメンタルスキル実習 I・II
- ヒトの一生
- 臨床から振り返る基礎学
- 健康科学 I
- 材料科学
- 早期臨床実習 I

- 一般教育系科目
- 歯科基礎系科目
- 臨床系科目

基礎系の歯学教育を中心に、理系の選択科目や臨床心理学、さらに国際性を有する医療人を育成するため、医療英語・英語会話教育を行っています。

2 学年

- 実用医学英語 II
- 英語会話 (Conversational English)
- 臨床心理学
- 原子核と放射線
- 物質の構造と反応
- 生命の連続性と遺伝子
- 生化学
- 解剖学
- 解剖学実習
- 生理学
- 感染微生物学
- 口腔解剖学
- 口腔解剖学実習
- 発生学
- 人類学
- 組織学
- 口腔組織学
- 薬物療法学
- 生体機能調節学
- 社会歯科入門
- 基礎口腔保健学
- 病理学
- 歯科薬物療法学
- 歯科理工学
- 歯科理工学実習
- 医療統計学
- 唾液と唾液腺
- 基礎医学演習
- 基礎歯科医学補講 I・II
- 口腔生化学
- 専門歯科治療概論
- 顎口腔運動制御学
- 健康科学 II

基礎系および臨床系の科目で構成され、関連領域を統合して学ぶことを主としたPBLテュートリアル教育も行っていきます。

3 学年

- 歯科理工学
- 分子生命科学実習
- 組織・口腔組織学実習
- 生理学実習
- 生体防御学
- 感染微生物学・生体防御学実習
- 口腔病理学
- 歯科薬物療法学実習
- 地域口腔保健学
- 口腔保健学実習
- 病理診断学実習
- 口腔腫瘍学
- 歯科症候学演習 (PBL)
- 早期臨床実習 II
- 歯科矯正学
- 歯科矯正学実習
- 小児歯科学
- 歯内療法学
- 顎口腔機能診断学
- 顎口腔機能診断学実習
- 口腔顎顔面外科学
- ヒトと放射線
- 画像検査の基礎と応用
- 歯冠補綴架工義歯学
- 全部床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学
- 保存修復学
- 歯周疾患治療学

臨床系の歯学教育を中心として、さらに医療論理や医療法学、隣接科学も学び歯科医療コミュニケーションの実習も行っています。

4 学年

- 歯科法医学
- 医療倫理
- 医療法学
- 歯科医療コミュニケーション実習
- 医療情報・医療管理学
- 歯科薬理学
- 小児歯科学
- 小児歯科学実習
- 口腔顎顔面外科学
- 口腔顎顔面外科診断治療学
- 部分床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学実習
- 歯科麻酔と救急処置
- 歯周疾患治療学実習
- 全部床義歯補綴学実習
- 歯冠補綴架工義歯学
- 歯冠補綴架工義歯学実習
- 口腔顎顔面外科手術学
- 口腔外科学・全身管理学実習
- 保存修復学実習
- 歯内療法学実習
- 高齢者歯科学
- 障害者歯科学
- 歯性感染症
- 顎咬合診断・口腔インプラント学
- 口腔インプラント学実習
- 歯科医のための内科学
- 外科学
- 耳鼻咽喉科学
- 歯科心身医学
- 臨床診査・検査学



臨床研修

国家試験

新潟病院では、各科をローテーション方式でまわり、きめ細やかな実習を行います。総合診療科では診療事務も担当することで、一般歯科、診療の基本的原理を理解し、基本的臨床能力を習得します。医科病院では、内科、外科、耳鼻咽喉科の各科で臨床実習があり、全身を学ぶ貴重な機会があります。また、診療問題の解決方法を学ぶPBL、TBL教育も行っています。

5年間で学んだ歯科基礎系科目と臨床系科目を統合し、再確認します。そして歯科医師として必要な知識と技術を身につけ、歯科医師国家試験にそなえます。

6 学年

- 総合科目①
- 総合科目②
- 総合科目③

5 学年

■ 臨床(病院)実習



PBLを重視

Problem Based Learning

PBLは問題基盤型学習と訳され、少人数制で行われ、学生が自力で学習課題を発見し、それを自学自習によって解決する訓練をすることが目的です。本学では平成16年度より「PBLチュートリアル」として全国の歯学部へ先駆けて実施しています。本学のカリキュラムでは、第1学年の歯科医学入門演習と第3学年の歯科症候学演習でPBLチュートリアル教育を行っています。



TBLも採用

Team Based Learning

本学ではPBLに加え、TBLも授業で採用しています。TBLは少人数制のPBLを広い教室などで一斉に行うものですが、PBLと同様に自主的な学習が可能な授業形態で、より専門性の高いチューターのもと問題解決型の学習を行います。



BEST LECTURE

ベストレクチャー賞受賞

部分床義歯補綴学

水橋 史 准教授
Fumi MIZUHASHI



本学では、学生が受けた講義に対して授業評価アンケートを行い、教員に評価結果をフィードバックすることで、講義の改善などに役立てています。

今回、3年生の顎口腔機能診断学の講義でベストレクチャー賞を拝受させていただきましたが、講義をするときには、学生にとって初めて耳にする用語や内容を伝えることの難しさを常に感じています。学生の立場に立って、もっと学生が理解できるよう、分かりやすい講義ができるよう、学生からの評価を基に、これからも講義の改善を行っていきたいと思います。そして、学生が歯科医学を身近に感じて、興味を持ってもらえるような講義をしていきたいです。

ベストレクチャー賞 | 学生によるアンケート結果から、毎年最も評価の高かった講義に対しベストレクチャー賞を授与しています。

歯科医師へのファーストステップ



水嶋 理紗
Risa MIZUSHIMA

新潟生命歯学部2年
[東京都杉並区出身]

第1学年前期では、早期臨床実習で実際に附属病院に行って、歯科器具に触れたり、歯のクリーニングなどを行います。今まで患者さん側だった診察を歯科医師の目線で見ることができてとても新鮮でした。この実習により歯科医師になる自覚が生じます。

後期の材料科学は、初めて学ぶ専門の科目で興味深く、私は毎週楽しみでした。

また、1年通して学ぶ教養科目では歯科医師になるために必要な幅広い知識も身につけることができるため、とても大切です。

部活動はスキー部に所属しています。週に2回の練習で先輩と同期と共に大会に向けて体力づくりをしています。合宿では東京の生命歯学部や他大学と練習します。そのため、本学以外の学生とも交流ができ、良い刺激を受けることができます。

大学の規模は小さいですが、その分先生との距離が近いので質問しやすいです。また、初めての一人暮らしで不安も多いですが、一学年の人数が少なく学生同士助け合いの意識が芽生えるため、素晴らしい環境の中で生活できます。



歯科医学入門演習 (PBL)



英語会話



細胞の生物学

▼1年生から社会で活躍する歯科医師の先生方の話を聞き、プロフェッショナリズムについて議論することで歯科医師の社会的使命を認知し、職責を自覚します。



プロフェッション



自然現象の数学

Message

サポーターからのメッセージ



第1学年サポーター
佐久間 要 助教
Kaname SAKUMA
新潟病院 口腔外科

私たちサポーターは、第1学年の勉学、部活を含めた生活面でのサポートを行っています。1人暮らしをスタートする学生が多く、生活環境がこれまでと大きく変わるため期待と不安があると思います。

そこで、朝はきちんと起きて講義へ出席できているか、食事はしっかりとれているかなどの大学生生活の基本となる面から、講義・実習にはついていけているか、友人関係や先輩とのコミュニケーションは良好かなどを、面談やメール連絡を通じて相談にのらせていただきます。

第1学年は6年間の歯学部学生生活の基礎となる学年です。就学中の勉学や生活面など困ったときや悩んだときに、どんなに些細なことでも親身に相談にのります。学生生活が有意義なものとなるように、身近なお兄さんの存在としてサポートしていきたくと思っています。

サポーター制度……第1、第2学年の期間、6～8名の学生に対し、1名のサポーター(臨床系若手教員)を配し、就学中の勉学・生活両面のサポートを行っています。

医療人としての豊かな人間性を育む

大学に入学してまず学ぶのは、一般教育系科目。幅広い教養に裏打ちされた豊かで個性豊かな人間性を養い、歯科医学を学ぶために必要な知識を習得します。

第1学年から第2学年にかけて、医療人初期教育、人文・社会科学、自然科学、語学教育、情報科学の5項目を、効率よく編成された時間割にしたがって、週5日間にわたって学びます。

さらに、診療、研究で使用されるコンピュータ技術、ネットワークについての基礎的な理解をするためにコンピュータ実習も行われます。

第1学年はクラス別編成で少人数授業が行われ、学生間の交流も盛んです。

一般教育系教授

長田 敬五 初年次教育担当
[教育学修士・博士(水産学)]

歯科医療の基礎を重点的に学ぶ



小田 幹太
Kanta ODA

新潟生命歯学部3年
【新潟県村上市出身】

第2学年では1年次での一般教育科目の上積みに加え、歯科の基礎を学びます。もちろん、その分、授業や実習の数も増えますが、歯科に関する分野が多くあるので、「自分が歯科医師になるのだ！」という意識をより強く持つことができます。また、この大学では座学と実習を連携して学べるようにカリキュラムが組まれているため、臨床に直結する知識をより深めることができます。

特に私が第2学年で好きな実習は歯科理工学実習です。前期では座学、後期では実習が中心になります。前期で学んだことを、実際に実習を通して確認し、理解と基礎的な知識をより深めることができます。

部活動はサッカー部に所属しています。先輩や後輩と共に、毎年8月に行われる大会に向けて、目標を達成するために日々練習を頑張っています。



歯科症候学演習 (TBL)



口腔解剖学実習



歯科理工学実習



ファンダメンタルスキル実習 I



ファンダメンタルスキル実習 II

Message

サポーターからのメッセージ



第2学年サポーター
高橋 悠 助教
Haruka TAKAHASHI
新潟生命歯学部
口腔外科学講座

第2学年では、医学・歯学の専門的な科目の学習が始まります。第1学年で学んだ科目に基づいたさらに深い知識や、それまでとは違った分野の勉強となります。急激に科目数も増えるため、学生たちも戸惑うことが多い中、毎日の予習・復習や定期試験に向けての早目の準備が必要となります。

一人暮らしの学生も多いことから、生活習慣の乱れやトラブルにより学習に影響がでないように、我々がサポートできればと考えております。

月に1回程度の面談や連絡を通じて、学生の現在の生活状況を把握し、どのような事でも相談できるような環境を作れるように取り組んでいます。また、勉強の方法や状況についても話し合い、同じように学生生活を送ってきた先輩としても、アドバイスできることがあれば少しでも力になりたいと思っています。

◀▶ファンダメンタルスキル実習はI(コミュニケーションスキル)とII(ハンドスキル)があり、歯科の基礎となる実習を第1学年から行っています。

歯科医療の基礎を徹底して学ぶ

歯科基礎系科目では、歯科医学の専門的知識をより深く追求します。授業は、講義と実習がセットになって行われ、実習では、教員の数もより多く、きめ細かな指導が特長です。これらを通じて、これからの歯科医療人としての見識と、幅広い知識と技術の習得を目標としています。

第1学年から第3学年にかけて、3つのジャンルの種々の科目を履修します。例えば、「口腔保健学」では、健康の概念、健康と社会・環境、予防と健康管理について学びます。「分子生命科学」では、基礎的な分子生命科学と口腔生化学分野の講義と実習を中心に学びます。「材料科学・歯科技術工学」では、歯科材料の使用工程と基本的な取り扱い方法や歯科修復や治療に使用される材料について基本的使用方法を習得します。

歯科基礎系教授

影山 幾男	解剖学1 [博士(医学)]
笹川 一郎	解剖学1 [歯学博士]
石山 巴喜夫	解剖学2 [歯学博士]
佐藤 義英	生理学 [博士(歯学)]
岡田 康男	病理学 [博士(歯学)]
葛城 啓彰	微生物学 [歯学博士]
仲村健二郎	薬理学 [歯学博士]
小松崎 明	衛生学 [博士(歯学)]

日々の実習でスキルを磨く



米山 実来
Miku YONEYAMA

新潟生命歯学部5年
【新潟県新潟市出身】

第4学年では、3年次までと比べて実習時間が大幅に増えて、1年のカリキュラムのおよそ半分を占めます。

座学でも臨床系の科目が増え、今までと比べてさらに臨床のことを深く学びます。そのため、4年次では歯科医師を目指すという目的意識とその使命をより一層意識するようになります。

また、4年次の後半にはCBTやOSCEといった共用試験があり、5年生での病院実習に進む

ために、講義も実技もより一層勉強をしなければなりません。とても大変ですが、臨床を学ぶにつれモチベーションも上がるのでやりがいを感じます。

勉強だけではなく、部活動ではバスケットボール部に所属して体を動かすことでリフレッシュしています。勉強に部活動にと忙しい日々ですが大変充実した大学生活を送ることができます。



小児歯科学実習



顎口腔機能診断学



歯冠補綴架工義歯学実習



▼臨床系科目の中には早期臨床実習Ⅰがあり、第1学年から新潟病院・医科病院で実際の医療の場を見学します。



早期臨床実習Ⅰ

Message

教務部長からのメッセージ



中原 賢 教授
Ken NAKAHARA
新潟生命歯学部
教務部長

歯科医師になるための6年間には、学ばなくてはならないことが多くあります。大きく分けると、知識、技能、態度の3つになります。知識、技能に関しては、講義や実習でその大半を身につけていくことができます。しかしながら、態度の修得は非常に難しく、その中でもコミュニケーションスキルが、歯学部卒業時の能力として最も不足していると言われていています。本学では、卒業後を見据え、そのスキルアップに力を入れて教育を行っています。

これからは、さまざまな職種との医療連携が必要となってくる時代です。コミュニケーションスキルが、今以上に重要視されるようになるでしょう。このように、時代に対応でき、意思の伝達や自己表現ができる人材が求められています。社会のニーズに合う医療人、また社会に貢献できる歯科医師を育成するため、私たちは日々、学生指導に努めています。

技術を習得して着実に歯科医への道を歩む

臨床系科目は、一般教育系科目と歯科基礎系科目で習得した知識と技術をもとに、臨床に即した知識と技術を習得し、豊かな人間性を持った歯科医師を養成することを目指しています。

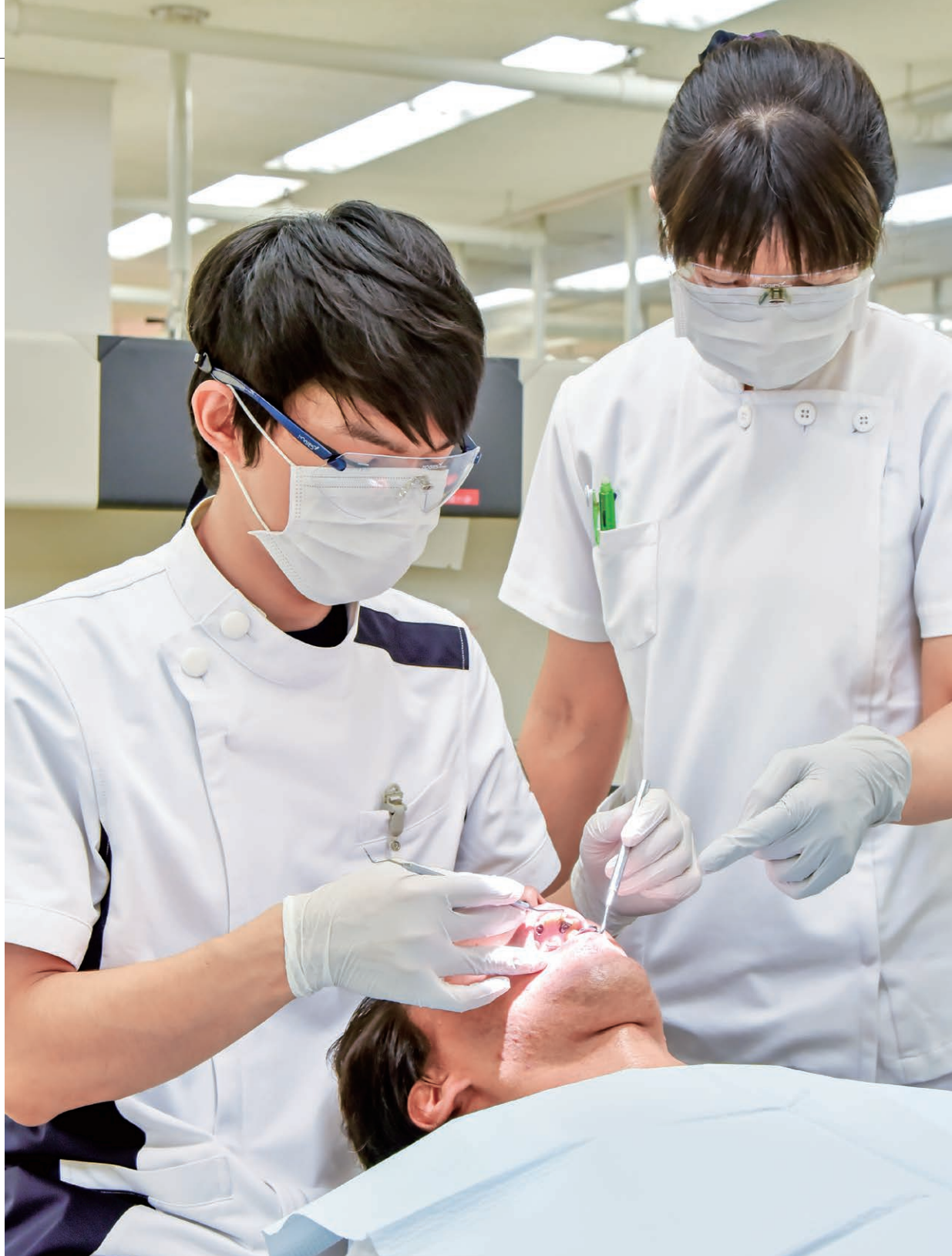
臨床基礎実習は、最新設備をそなえたマルチメディア臨床基礎実習室で行われます。すべての学生の能力を最大限に引き出すため、学生8名に対して教員1名という、きめ細かい指導体制が整っています。

医科病院には、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔のみにとどまるのではなく、全身を総合的にとらえて治療しなければならない、という日本歯科大学の基本的な考え方がここにも表れています。

歯科臨床系教授

新海 航一	歯科保存学2 [歯学博士]
佐藤 聡	歯周病学 [歯学博士]
小出 馨	歯科補綴学1 [歯学博士]
渡邊 文彦	歯科補綴学2 [歯学博士]
田中 彰	口腔外科学 [博士(歯学)]
佐野 公人	歯科麻酔学 [歯学博士]
藤井 一維	歯科麻酔学 [博士(歯学)]
遠藤 敏哉	歯科矯正学 [歯学博士]
小椋 一朗	歯科放射線学 [博士(歯学)]
関本 恒夫	小児歯科学 [歯学博士]

理想の歯科医師像に思いを馳せ



白井 良周
Yoshinori SHIRAI

新潟生命歯学部6年
【東京都杉並区出身】

第5学年になると、新潟病院での臨床実習が始まります。病院では実際に患者さんを診察し治療を行います。第4学年で学んだことを先生方の診療を見て学ぶことでさらに知識を深めることができ、技術面でも教科書では学べないテクニックなども先生方から教わる事ができる貴重な1年間になります。

新潟病院ではさまざまな診療科に加えて、訪問歯科という、介護の必要な高齢者や障害者の方の訪問歯科診療に実際に参加して歯科診療を

見学することができます。また医科病院の内科、外科、耳鼻咽喉科で手術の見学をすることもでき、口腔内だけではなく、全身に関しても学ぶことができます。

所属するスキー部と陸上競技部では、他大学とも交流があり、部活動についての話はもちろん、勉強のことにしても相談できる友人ができました。部活動を通じて気持ちの面でも強くなり、日々の勉強に関しても挫折せずにここまでやってこれることができました。



総合診療科での実習



外科手術見学



口腔外科手術見学



Message

学生部長からの
メッセージ



小松崎 明 教授
Akira KOMATSUZAKI
新潟生命歯学部
学生部長

本学の長い歴史の中で、互いに切磋琢磨し、新時代を切り開こうとする学生気質は磨かれてきました。長寿社会を迎え、次世代に求められる幅広いスキルを身につけ、歯科医師としての使命を果たせるように、学生諸君には勇気と自信を持って未来へと船出してほしいと思います。

歯科医師となるまでの道のりは、楽なものではありませんが、クラブ活動や実習等を通し、強い絆で結ばれた同級生や先輩・後輩は、あなたの応援者として一生の宝となることでしょう。また、多数の姉妹校との国際交流から、外国の友人を作り視野を世界に広げることも可能です。学生部では、学習の障害となる要因を可及的に除去し、精神面を含めた重層的な学生支援を実施しています。

「人」を育む教育に必要な環境の整備に、本学は努力を惜しみません。学生の個性を尊重し、その力を最大限に引き出す本学で、あなたの夢を実現してみませんか。



新潟・東京両生命歯学部で 交換実習

新潟、東京の両生命歯学部の臨床実習生(第5学年)を、それぞれの病院の特徴的な診療科へ派遣し、実習を行う交換実習があります。新潟病院では、訪問歯科口腔ケア科を中心に実習が行われ、東京では小金井市にある口腔リハビリテーション多摩クリニックにおいて、外来の嚥下造影検査や構音機能訓練などを見学します。

口腔リハビリテーション多摩クリニックは東京都小金井市にある、赤ちゃんからお年寄りまですべての年代の摂食嚥下障害、言語障害のある患者さんを対象とした、日本で唯一の口腔リハビリテーションに特化した歯科診療施設です。

新潟と東京両学部の親交も深まり、参加した学生のあいだで好評の実習となっています。



口腔リハビリテーション
多摩クリニック



多摩クリニックで診察室の見学
する新潟の学生

教師の熱い思いを受けとめて、夢の実現を目指す

5学年に進級すると、実際の病院で臨床実習がはじまります。歯科医師への道も、いよいよ見えてきます。

新潟病院では、総合診療科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科、歯科麻酔・全身管理科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、ローテーション方式でそれぞれの科で、実際の検査や治療を通じて、患者の立場に立った医療人としての知識・態度、そしてそれに応じた技能を習得させるよう努め、臨床実習の効果をあげています。

医療病院では、診療科として内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔と全身とのかかわりを意識した実習をとおして、総合的で実効的な実習として教育効果をあげています。これも、本学ならではの大きな特色です。

医科臨床系教授

大竹 雅広 外科学[博士(医学)]

五十嵐 文雄 耳鼻咽喉科学[医学博士]

大越 章吾 内科学[医学博士]

診療科教授

宇野 清博 総合診療科[歯学博士]

江面 晃 総合診療科[歯学博士]

黒川 裕臣 総合診療科[歯学博士]

山口 晃 口腔外科[歯学博士]

河野 正己 口腔外科[歯学博士]

寺田 員人 矯正歯科[歯学博士]



全身麻酔による口腔外科手術

医療連携を推進し、地域歯科医療に貢献する

新潟病院は、歯・顎・口腔の総合医療施設として、総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科、矯正歯科、小児歯科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、入院治療のための病床42床をはじめ、全身麻酔可能な中央手術室、CT、CBCT、MRI、RI、Linac放射線治療装置などの高度高額医療施設を設備しています。

さらに診療センターとして障害児・者、睡眠歯科、口腔ケア機能管理を有し、特殊外来として白い歯、特殊歯周病治療、スポーツ歯科、いき息さわやか、あごの関節・歯ぎしり、口のかわき治療、歯科アレルギー治療、歯科鎮静リラックス、顎のかたち・咬み合わせ、歯の細胞バンク、MRONJ外来があり、多様化する高度専門歯科医療に対応しています。また、地域歯科診療支援病院として、歯科の三次医療機能に加え、地域の医療機関や福祉施設との連携を強化し、積極的に地域の多職種連携医療、在宅歯科医療を推進しています。



あごの関節外来



インプラント手術



小児歯科

Message

将来の歯科医師人生を 占う病院実習

山口 晃 教授
Akira YAMAGUCHI
新潟病院病院長
口腔外科



第5学年次の4月から、新潟病院における臨床実習が始まります。

この実習は、それまでの模型を用いたシミュレーションと異なり、実際に患者さんの診療に参加して実体験する実習です。そのためには、第4学年末にある全国統一の共用試験をクリアし、患者診療を行うことができる知識、技能、そして態度を備えていることが最低条件です。臨床実習で患者さんから学ぶべきことは、限りなく多く、そして深いものがあります。

しかし、一方で、それは学ぶ側の心持ち1つで大きく変わります。常に、患者さんの苦しみや訴えに耳を傾け、最善の治療ができるように勉強し、技術を磨く。そうした準備の下での実習と、ただそこにいるだけの実習では雲泥の差があります。まさに、実習の成果は自分自身にかかっています。そして、それは実際に歯科医師になった後の諸君の人生を予言しているのです。

医療にこれでいいというゴールはありません。生涯勉強、生涯研修の歯科医師人生のスタートラインに立つための、とても大変ですがとても魅力的な実習が病院実習です。



外科手術



耳鼻咽喉科診療



内視鏡検査



内科回診

生命歯学の実践

医科病院は昭和55年、日本歯科大学新潟歯学部の新潟歯学部医育機関として開設され、診療科は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、入院治療のための病床50床が設置されています。MRI、CTなどの診断装置を駆使し、内科、外科では肝、胆、膵疾患ならびに消化器系を中心とした、また耳鼻咽喉科では高度難聴の施設基準を満たし、高度な医療を提供しています。日本歯科大学新潟生命歯学部では、歯科医学と医学の融合を図るため、一般医学の講義に加え、医科病院における医科研修を行っており、ほかの歯科大学には見られない大きな特色となっています。

医療人として より視野が広がる 貴重な実習



海野 実佳

Mika UNNO

新潟生命歯学部 6年
[宮城県仙台市出身]

第5学年での臨床実習には、歯科の実習だけでなく医科病院での実習も組み込まれています。医科病院では、内科、外科、耳鼻咽喉科、検査科、薬剤科での見学や実習を行います。内科での内視鏡検査や外科・耳鼻咽喉科での手術などを実際に手術室に入って見学し、検査科では、歯科でも行う血液検査がどのような仕組みで行われているかを学びました。薬剤科では薬の管理方法や患者さんへのお薬の提供の仕方まで実際に体験しました。

歯科というと口腔内だけ、という印象も初めはありましたが、超高齢社会の中で歯科を通して患者さんの生活の質の向上を目指すためには、全身疾患についてもより深く理解しておく必要性を強く感じました。いつも患者さんの痛みや苦しみに耳を傾け、より良い治療を提供できる歯科医師を目指すためには、医科病院での見学は医療人としてより広い視野をもつための貴重な機会であり、この経験を大切な糧として将来に活かしていきたいと思っています。

Message

全身を学ぶ



大越 章吾 教授

Shogo OKOSHI

医科病院病院長
内科学講座

新潟生命歯学部は本格的な医科病院を併設する、全国的に見ても非常に貴重な歯科大学です。近年、歯周病と糖尿病や認知症、嚥下及び摂食の全身管理における重要性の認識に代表されるように、歯科医学を全身疾患の一部として捉える考え方が浸透してきており、その意味で以前から医科病院が存在することは、日本歯科大学の先見の明を示しています。

医科病院は内科、外科、耳鼻科からなり、50床の入院病棟があります。5年生のカリキュラムには医科病院の臨床実習が組み込まれており、各科で診療の実際を経験することができます。内科では内視鏡などの検査の見学、外科、耳鼻咽喉科では手術の見学を通して実地医学を学ぶことができます。歯科医学の修得の中で全身疾患の理解は必須のものであり、医科病院との関わりを通じて常にUp-to-dateに学ぶことが可能です。

高齢化社会を迎え、多くの合併症を有する患者さんの歯科治療を行う機会が増えています。医科病院での臨床実習は、全身状態を考慮に入れて、安全で的確な治療を行うことができる歯科医師としての基礎を学ぶ絶好の場といえます。



出発前の打ち合わせ



施設に到着、往診器具とともに施設内に



診療後カルテを整理



先生の指導のもと患者さんの口腔ケアを行う

求められる地域に密着した在宅歯科医療

現在、わが国では、急速に少子高齢化が進行しており、国民の医療や介護の需要がますます増加することが見込まれて社会問題になっています。そこで、国の施策として、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に

提供される「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。これに応じて歯科界でも、地域ぐるみで要介護者のための在宅歯科医療の充実と、医療・介護との連携強化が求められています。そのため、地域で働く歯科医師にとって、訪問歯科診療と訪問口腔ケアの知識と技術の習得は必須のものになっていくでしょう。

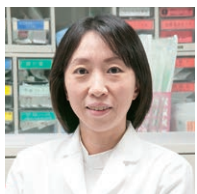
「地域」と「連携」をキーワードに

新潟病院では、昭和62年9月に在宅歯科往診ケアチームを全国歯科大学に先駆けて設置しました。その後30年以上にわたり、地域の要介護高齢者や障害者の訪問歯科診

療や口腔ケアに従事し、多くの社会福祉施設において無料歯科検診を行うなど、地域歯科保健医療に寄与してきました。そして、この長年にわたる経験は、平成16年の新

Message

超高齢社会に対応できる 歯科医師に



白野 美和 准教授
Miwa SHIRONO
新潟病院訪問歯科
口腔ケア科科长

新潟病院在宅歯科往診ケアチームは、平成26年4月からは診療科に移行し、本邦初となる訪問歯科診療専門の診療科『訪問歯科口腔ケア科』となり、4名の専従歯科医師と専任歯科衛生士4名、専任看護師1名を中心に総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科の担当歯科医師を加え訪問歯科診療を行っています。

在宅医療の中で歯科医療の供給は不足していると言われており、これからの歯科医師は在宅歯科医療に必要な知識・態度・技能の習得が必要とされてい

ます。

訪問歯科診療の場において歯科医師は全身的な医学知識や介護に関する知識を持ち、他職種と連携をとることが必要であり、歯科治療のみならず誤嚥性肺炎の予防や摂食・嚥下リハビリテーションなど多方面の管理を要求されるようになってきました。

平成22年度に全国に先駆けて歯学部5年臨床実習生の訪問歯科診療実習と臨床研修歯科医の訪問歯科診療研修を必修化し、在宅歯科医療を学ぶ絶好の環境を提供しています。



患者さんの自宅での診療。患者さんの声を聴くことがまずは大切

新潟中越地震、同19年の東日本大震災さらには平成23年の東日本大震災などの大規模災害時に、被災地へ赴き、被災者への応急歯科診療と口腔ケアを行うなど多方面に役立っています。このような種々の活動は、第60回新潟日報文化賞や第63回保健文化賞を受賞するなど、高く評価されています。

チームは、平成26年4月から訪問歯科

口腔ケア科として、専従歯科医師4名、専任歯科衛生士4名、専任看護師1名を中心に診療体制を強化しました。地域歯科医療支援室と連動して、地域の医療や介護分野など他職種や歯科医師会と連携を強め、地域における在宅歯科医療の後方支援を担いながら、医療・介護と歯科医療を繋ぐ役割を果たすことが期待されています。

他職種と連携できる歯科医師を養成

現在、他職種と連携し、口腔と全身を診ることができる歯科医師の育成が求められています。歯科医師も全身の健康を支える医療チームの一員として、在宅医療や介護をはじめさまざまな職種に関わり、共に支えていく新時代に突入しているのです。

そこで新潟病院では、第5学年次の臨床実習において訪問歯科診療を必修化し、臨床実習生が、実際に医療、介護従事者が集まり在宅療養患者のために開催される退院時カンファレンスに参加するなど、地域医療の現場で、連携の重要性を学んでいます。



訪問歯科診療を必要とする患者さんは少なくない



中越地震避難所での診察



東日本大震災避難所での診察

訪問診療の重要性を身をもって感じます



竹本 さつき
Satsuki TAKEMOTO
新潟生命歯学部6年
[新潟県新潟市出身]

5年生になると、学部隣接する新潟病院で臨床実習が始まります。さまざまな科をまわり歯科診療を学ぶことができます。

その中の訪問歯科口腔ケア科で、訪問歯科診療に参加することができます。訪問歯科では先生や歯科衛生士さんと共に、実際に介護施設や患者さんのご自宅に訪問し治療を行います。治療器具の少ないなかでの診療になり、また、通院の難しい全身疾患をもった患者さんも多いため、一般的な

歯科診療と少し違った診療を体験することができました。

訪問歯科では患者さんをたくさんの職種の人たちと協力して治療をしていきます。これから高齢化が進み、そのなかで自分が歯科医師になった時、患者さん一人ひとりにあった全身管理ができる知識や、患者さんや他の職種のの人たちとのコミュニケーション能力を身につけることが大切であると感じました。

Freshman's Eye

フレッシュマンズ・アイ

みなさんが目標とする歯科医師。その歯科医師の仕事は多岐にわたっています。ここでは、卒業してまだ間もない若手の歯科医師の先生に、大学時代の思い出から、現在のお仕事などのお話を伺いました。未来の歯科医療を志すみなさんの参考にしてはいかがでしょうか？

ともに学ぶ学友は一生の財産

父が歯科医師で、実家も歯科医院でしたので物心ついた頃から歯科医師を目指していました。高校時代に進路で迷うこともなかったですね。



日本歯科大学の新潟校を選んだのは、在宅診療に力を入れており、臨床実習でも訪問歯科がカリキュラムに組み込まれていることを知り、その分野の経験を積

第103回卒

平成25年度
新潟生命歯学部卒業
井上 博之 先生
Hiroyuki INOUE
千葉県美浜区
マリブ海浜歯科勤務

めるというのが大きな理由でした。

学生時代の思い出は第5学年の臨床実習です。学生時代に実際の患者さんを診療させていただいたことは貴重な経験でした。また、臨床実習では今まであまり接点のなかった同級生とも、一緒にさまざまな診療科を回っているうちに仲良く



学生時代の病院実習でクラスメイトと



就職してから歯周外科の認定医を取得しました



しっかりとした説明と、常に誠意をもった診療を心がけています。



なりました。国家試験に向けて強い団結心も芽生えるようになり、この頃仲良かった友達は今でもよく連絡を取り合っています。

卒業後は、臨床研修医を経て、東京都内の診療所に勤めた後、現在の歯科医院に勤務しています。勤務日は水曜日から日曜日までの5日間です。当院は土、日曜日も開院していますので、他の行きつけの診療所さんがお休みで痛みが出しまった患者さんが来院されるケースも多く、そういった患者さんにはよく感謝されます。

診療にあたり心がけていることは、患者さんにきちんとわかりやすいように説明をさせていただくことと、誠意をもって対応させていただくことです。患者さんのことを親身に思い、治療する歯だけでなく、お口の中全体を総合的に診させていただければと思います。

本学には全国各地から学生が集まります。僕も山口県出身ですが、全国津々浦々、さまざまな地域出身の友達ができました。今でもつながりがあるそんな友達が大学時代の一番の財産です。ぜひ、本学に入学して歯学の道を極めるとともに、一生の友達もたくさん作っていただきたいと思っています。





31年目の新たなステージへ また一つ、全国初が誕生しました

今から30年前、「歯医者への訪問診療」など誰もが考えもしなかった時代から、本学は在宅往診ケアチーム（現在の訪問歯科口腔ケア科）による訪問歯科診療を行ってきました。全国29歯科大学・歯学部としては、はじめての試みでした。

そして31年目の今年、新潟県三条市に外来患者を受けない訪問診療専門のクリニック、日本歯科大学在宅ケア新潟クリニックを開設しました。これもまた、全国でははじめての試みです。

このクリニックは、いわゆる、歯科治療用椅子のない、

事務所・ミーティングルーム、滅菌消毒設備のみを備える歯科診療所です。外来の患者さんを診療する設備はありません。これからの更なる高齢者人口増加と寝たきり老人増加を見通すと、近い将来、このような新しい形態の開業スタイルが必要になると考えます。

本学は、世界でも類を見ない超高齢社会の中で、訪問歯科医療や口腔ケアの施行、医師・看護師・薬剤師・介護関係者等との多職種連携が必須である地域包括ケアシステムに対応できる次世代の歯科医師の育成に真剣に取り組んでいます。

A View to the Future

歯科医学は日進月歩。近年の歯科医学は目覚ましい発展を続けています。そんな発展の一翼を担っている、歯科界のフロントランナーとして未来へ歩み続ける本学の最新のトピックスをご紹介します。



新潟病院「MRONJ外来」開設

2003年に初めて医薬品「ビスホスホネート」の使用による副作用に関連する顎骨壊死(BRONJ)が発表されました。未だに発症機序に関するエビデンスは乏しく治療ガイドラインは日々更新されています。

2014年には、米国口腔顎顔面外科学会が改訂したポジションペーパーにおいて、血管新生阻害薬によって発症した顎骨壊死の報告も包含され、薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)と病名が変更されました。日本口腔外

科学会が行った患者の全国実態調査では、2006年からの3年間と2011年からの3年間では約18倍と増加しており、今後も増加することが予想されています。

そこで、2017年7月1日より専門外来として新潟病院にMRONJ外来を開設しました。この外来では、それぞれの患者さんの状態にあわせて最適な時期に外科的治療を早期から適応すること、外科的治療の際に薬剤の休薬をしないことを特徴としています。



新潟病院「歯の細胞バンク外来」開設

「歯の細胞バンク」は、患者福祉の一環として2015年4月に大学が主導する細胞バンクとしてはわが国初の施設として誕生しました。

新潟病院では2017年9月1日に患者さん自身の細胞を患者さんへ供給する「バイオ再生医療」のベース基地の一つとして「歯の細胞バンク外来」を開設しました。

基本的には、生命歯学部で設立された「歯の細胞バ

ンク」へバンク登録を希望する患者の抜去歯(細胞)を提供できる体制づくりを目的としています。そのため、「歯の細胞バンク外来」では、新潟病院院内や周辺地域の開業歯科からのバンク登録を希望する患者の受け入れを行い、円滑に抜去歯(細胞)を本バンクへ発送します。また、困難抜歯が予想される場合や鎮静法下での抜歯を希望される方の受け入れなども行います。

Message

むし歯を削ってモノを詰める、歯が抜けたらモノで補う。これらのモノ、すなわち歯科材料に支えられてきたのが、従来の歯科医療です。一方、“細胞”を活用した新たな医療、それが再生医療です。とくに「幹細胞」とよばれる魅力的な細胞は、失われた組織のカタチや働きを元通りに治せる再生医療には必須の細胞です。

私たち歯科医師は、治療の一環として乳歯や親知らずを抜くことが多くあります。最近では、これらの抜いた歯にも幹細胞の存在が明らかとなり、再生医療に応用できる可能性

が示されています。

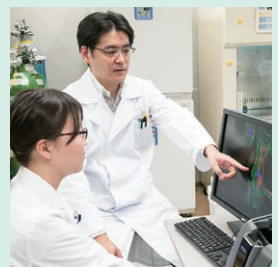
本学の研究グループは、歯科医師に身近な歯の幹細胞を用いて、歯や口だけでなく、全身の病気を治す再生医療を目指しています。そして現在、歯の幹細胞の一つである「歯髄細胞」を将来の再生医療に活用するため、患者さんの歯髄細胞を凍結保存する「歯の細胞バンク」をスタートしました。

みなさんも本学の一員となり、歯の幹細胞で全身の病気を治す「生命歯学」を学び、歯科から発信する再生医療の息吹を感じてみませんか？

歯の幹細胞で再生医療へ

中原 貴 教授
Taka NAKAHARA

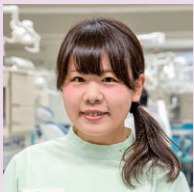
日本歯科大学副学長
日本歯科大学
生命歯学研究科
発生・再生医学講座



最新の設備を誇る教育環境



モチベーションの向上にもつながる最新の臨床実習室



清水 優里

Yuri SHIMIZU

新潟生命歯学部5年
[長野県千曲市出身]

マルチメディア臨床基礎実習室では学生一人ひとりに歯科医療を行う上で必要な機材が設備されており、患者に見立てたマネキンを用いて切削や充填などの実践的な実習を行うことができます。

また実習台にはモニターがついているため先生の説明が分かりやすく、もし分からないことがあればランプを点けることで先生が来てくださり、先生方の丁寧な指導の下、実習を進めていくことができます。

さらに実習室には診療室のようにユニットがあ

る部屋もあり、学生同士で患者役と歯科医師役に分かれて医療面接などを行なうことでコミュニケーションスキルを養うことができます。この実習室は一年生の頃から使用するため将来歯科医師になることを実感できモチベーションの向上にもつながります。

このようにマルチメディア臨床基礎実習室では、実際の診療を行なうために必要な技術だけでなく、コミュニケーションスキルも身に付けることができます。



マルチメディア臨床基礎実習室

マルチメディア臨床基礎実習室

1号館2階には、最新のIT機器を設置した、今までに例を見ない最新のシステムをそなえた、多機能の「マルチメディア臨床基礎実習室」があります。この実習室では、Windows PCを搭載した実習机120台と治療用歯科ユニット12台、フットペダル式水洗ユニット12台、IT示説室をそなえています。

ITセンター

ITセンターはキャンパス内の2号館2階にあり、IT教室1には情報科学の実習に使用されるWindows PC56台、IT教室2には学生が自由に使用できるPC48台が常設してあります。特にIT教室2は、試験に関係した特別な期間を除いて、休日を含めて朝7時から夜11時まで使用可能で、指静脈登録を行った学生が自由に入室してコンピュータを使用することができます。

IT教室1、2は、パーティションを一時

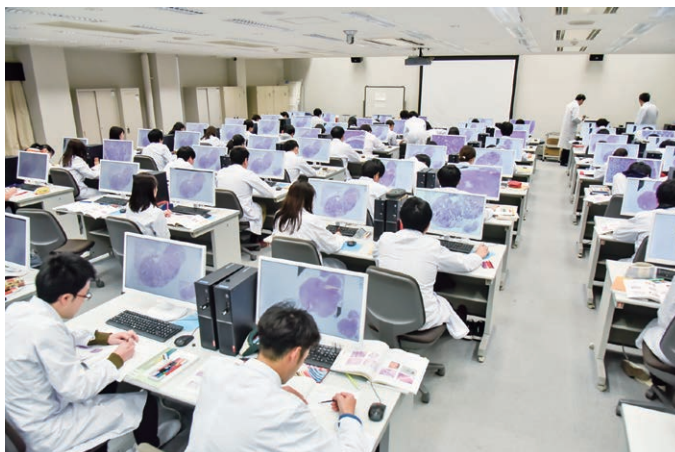
技工作業コーナーも充実しており、石膏操作、鑄造、流鑄^{りゅうろう}作業、X線デジタル撮影もでき、実習時間外には学生技工コーナーで課題を行っています。

実習机には最新式歯科治療機器と口腔内カメラ、乾湿サクシオン装置、マネキンが装備されており、技工作業と臨床手技シミュレーション作業が実施できます。

撤去することで104台のPCを同時使用できる環境にあり、コンピュータ試験なども実施しています。

本学ではe-Learningにも力を注ぎ、CAIシステム*による国家試験問題も学生に好評です。

*CAIシステムは、サーバーに過去の歯科医師国家試験問題約6400問が記録されています。各問題の正答、選択肢解説が収録され、学生が問題を選んで学習したり、コンピュータが任意で選んだ問題で試験を受けるなどの機能を持つすぐれた自己学習ソフトです。



IT教室1と2の間のパーティションを一時撤去することで、1学年全員がパソコンを使用した授業を行えます



指静脈登録によりITセンターに入室します

スマートフォンによる双方向対話型授業

スマートフォンによる学生支援システムを出欠席管理、情報配信、さらにソクラテス型(双方向対話型)授業に利用しています。出欠は授業の前後に、専用アプリから各自がタップすることで管理しています。

ソクラテス型授業は、講義中に提示した多肢選択問題の解答作業をスマートフォンで行い、教員がその解答状況をリアルタイムに知ることができます。さらに、掲示板、学生の呼び出しにも活用されています。



スマートフォンを使用した授業出席登録

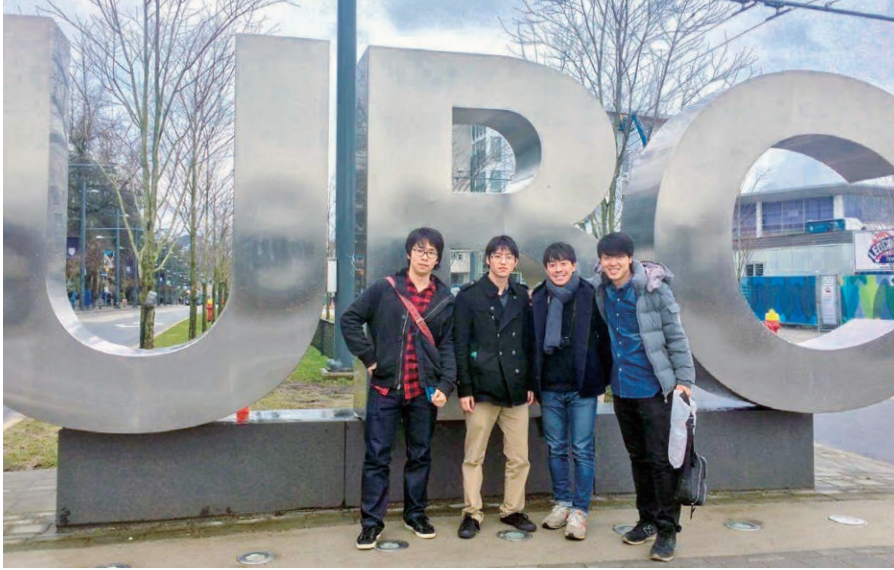
ソクラテス型授業



解答結果はリアルタイムでデータベースに採取・採点・集計され、その結果は教員の手元のパソコンに表示されます。学生の理解度に応じた授業を、効果的に行っています。



国際交流



ブリティッシュ・コロビア大学(UBC)のキャンパスにて



ワシントン大学(UW)での病院見学



バンクーバーで北米の歯科学会に参加



新潟まつりの市民神輿に参加



茶道を通して和の精神に触れます



UBCにて短期留学の修了証を受領



新潟でのフェアウェルパーティ

ブリティッシュ・コロビア大学との連携

交換学生制度は1986年に始まり、29回目を数えます。本学の学生が姉妹校のカナダ・ブリティッシュ・コロビア大学(UBC)と米国・ワシントン大学(UW)を訪問し、研修と親睦を図る本学独自の教育システムです。

相互訪問は毎年、本学の学生は3月に、UBCの学生は7月に行われます。

UBC・UW交換留学生

かけがえのない貴重な経験



土屋 健太郎

Kentaro TSUCHIYA

平成29年度
新潟生命歯学部卒業
[新潟県新潟市出身]

5年生の3月に本学の交換留学制度の派遣学生として、アメリカのワシントン大学(UW)とカナダのブリティッシュ・コロビア大学(UBC)に短期留学をしました。

UW、UBC両校の歯科教育の見学、学生との交流、アメリカとカナダの文化を実際に体験してきました。特にUBCではパディを組んだ学生とホームステイをしました。

2週間の留学で、アメリカとカナダの歯科教育水準の高さや医療に対する意識の違い、日本とは違う学生生活などを目の当たりにしました。特に印象的だったのが、参加したPacific Dental Conferenceというデンタルショーの規模の大きさでした。この大会で世界の歯科事情を肌で感じることができました。

パディを含む現地の学生たちも非常によくしてくださり



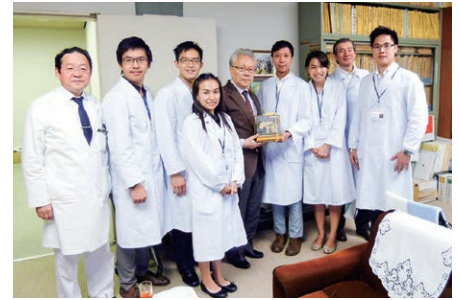
UBCの教室にて

素晴らしい時間を過ごすことができました。6年の夏に彼らと再会できた時は言葉で言い表せない嬉しさでした。

今回の留学が自分自身初めての海外滞在であり、かけがえのない経験となりました。留学に興味のある方はぜひ参加してみてください。



ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)からの訪問学生



マヒドン大学(タイ)からの訪問学生



四川大学華西口腔医学院(中国)にて



中山医学大学(台湾)からの訪問学生



中山医学大学(台湾)にて

国際色豊かな広い視野を育てます

高度情報化社会の現代では、グローバルな国際的交流の重要性の認識が改めて必要となります。

本学では、こうした国際化にともなうコミュニケーションを推進するため、インターネットなどのインフラはもとより、直接海外の研究者との交流を積極的に進めています。

特に、若手の教員・研究者を対象として、研究者同志のつながりや融和を大切に国際学术交流の一助として、国際学会への出席や留学といった面で支援しています。また、タイのマヒドン大学の訪問学生や、台湾の中山医学大学、中国の四川大学華西口腔医学院などとの学生相互訪問なども活発に行われています。

四川大学華西口腔医学院交換留学生

世界を肌で感じる短期留学



秦 史子

Fumiko HATA

新潟生命歯学部5年
[東京都杉並区出身]

今回、病院実習の期間中、中国・成都にある四川大学華西口腔医学院に2週間訪問留学させていただきました。

四川大学では、最初の1週目、日本を含めおよそ7カ国の歯科大学からの参加者に対する外国人向けのプログラムで、毎日英語で歯科の講義を聴いたり、実習を行いました。2週目は私たち外国人に加え、中国全土の歯科大学からの参加者と共に講義を聴いたり、観光をしたりと交流をしました。

また、プログラム後半では、各大学紹介と、歯科の技術大会を行いました。大会では、東京校と新潟校で協力し、全ての行程をこなすことができ、私たちNDUは3位を獲得できました。

病院実習期間の留学のため、病院での課題を行いながら

留学し、帰国後すぐに病院に戻るというハードスケジュールでしたが、貴重な海外での経験を積めるとともに、東京校とも深く関わられたことがとても良い思い出となりました。



四川大学華西口腔医学院の前にて

最先端の知識と技術で未来を拓く



清水 公太
Kota SHIMIZU

新潟生命歯学研究科
硬組織機能治療学
【埼玉県川口市出身】

私が大学院への進学を考えたのは、5年次の臨床実習を行っている時でした。自分が歯科医師になった時に、一つ専門となるものがあれば強みになるのではないかと考えたからです。

私は硬組織機能治療学を専攻し、歯内治療学を学んでいます。歯内治療学は歯科保存学第1講座が担当しており、講座では通常の根の治療はもちろん、破折した器具の除去、歯の再植などの保存治療、診療用顕微鏡を用いた治療など、専門性の高い治療を行っています。

また、大学院生は前述のような診療はもちろん、治療の基礎となる研究や学生への実習もしています。研究では最新の知見を発見したり、論文検索で新たな知識を得ることができ、学生実習では自分が持っている知識をわかりやすく教えられなければなりません。

このように、大学院ではさまざまな経験ができ、歯科医師として成長できる機会が得られると思います。ぜひ、みなさんも一緒に貴重な体験をしましょう。



口腔環境保健学ゼミ



全身関連臨床検査学ゼミ



機能性咬合治療学ゼミ

未来の歯科医療の発展に寄与する

新潟生命歯学研究科では、歯科医学に関する学術の理論とその応用について教授し、歯科医学の発展に寄与できる研究者としての高度な専門的知識を習得するとともに、自立して研究活動を行い、研究機関のみならず地域医療、産業界など社会の多方面においても専門業務に従事できる幅広い研究能力を養うことを目的としています。

専攻主科目は基礎科学系(顎口腔形態学、顎口腔機能学、顎口腔感染環境保健学)、応用科学系(顎口腔材料咬合学、顎口腔病態診断学、顎口腔生体反応学)、臨床科学系(硬組織歯周治療学、顎口腔成長発達学、顎口腔全身病学)の3つから構成され、従来の既成概念にとらわれない特色ある研究指導體制がとられています。

Message

根拠に基づいた 診療のできる歯科医師に

大滝 梨菜

Rina OTAKI

新潟生命歯学研究科
機能性咬合治療学
[新潟県見附市出身]



どんな歯科医師になりたいか誰もが一度は考えると思います。私が大学院への進学を考え始めたのは臨床研修歯科医の時です。実際に担当患者さんを持ち、自分で診査・診断・治療した時、私は知識を臨床に活かせず苦戦しました。その治療方法を選択する根拠は何だろう、別の治療方法も可能ではないのか、といったも疑問を拭えないまま診療をしていました。このような疑問を解決するため、歯科医師として自信をつけるため大学院への進学を決意しました。

現在、私は特に興味を持っていた機能性咬合治療学(歯科補綴架工義歯学)を専攻しています。本講座ではクラウン、ブリッジそしてインプラントの基礎・臨床研究を行い、臨床に貢献できるよう努めています。また研究成果を出し、診療で臨床経験を積み、専門医・学位の取得を目指しています。

教授をはじめ、諸先生方の熱心な指導とサポートのもと、研究、臨床ともに大変充実した大学院生活を送っています。

皆さんも大学院で自信をつけて、根拠に基づいた診療のできる歯科医師を目指してみませんか？

基礎科学系	顎口腔形態学	硬組織粘膜炎比較形態学 形態分析化学
	顎口腔機能学	咀嚼分泌神経学 唾液唾液腺機能学
	顎口腔感染環境保健学	口腔感染免疫学 口腔環境保健学
応用科学系 専攻・専攻主科目	顎口腔材料咬合学	口腔材料開発工学 機能性咬合治療学
	顎口腔病態診断学	放射線定量診断学 病態組織機構学
	顎口腔生体反応学	硬組織唾液腺薬物反応学 口腔全身機能管理学
臨床科学系	硬組織歯周治療学	硬組織機能治療学 歯周機能治療学
	顎口腔成長発達学	小児口腔行動科学 咬合形態機能矯正学
	顎口腔全身病学	顎口腔全身関連治療学 全身関連臨床検査学

世界に発信する学術研究



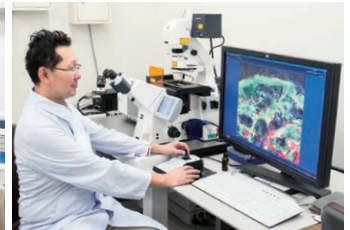
リアルタイムPCR



ナノドロップ



X線光電子分光装置



共焦点レーザースキャン顕微鏡



電子プローブ・マイクロアナライザ



マイクロフォーカスX線CT

先端研究センター

先端研究センターは新潟生命歯学部キャンパスの6号館にあります。研究プロジェクトは主に軟組織疾患を対象とした「口腔疾患の診断と治療における分子生物学的アプローチ」と、硬組織を対象とした「口腔内生体材料における高機能素材の開発とその臨床応用」という2つから構成されています。

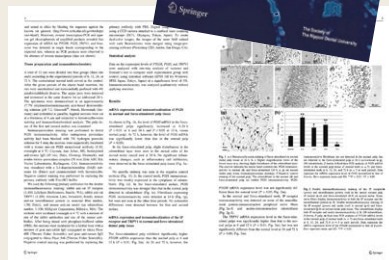
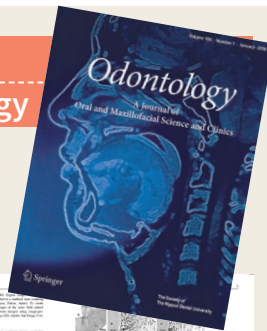
研究チームは5～6つのワークグループから構成され、それぞれにコーディネーターがつき、54名の研究者がそのコーディネーターのもとで研究を分担しています。

いずれの研究も、先端的な業績をあげている他大学や民間機関、民間企業とも連携し、多方面の技術協力や共同研究によって進められています。

先端研究センター教授

笹川 一郎 [歯学博士] 中原 賢 [博士(歯学)]

学術誌 Odontology



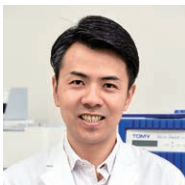
日本歯科大学歯学会発行の「Odontology」は、国際的な研究成果発表を目標として、「歯学」を継承し2001年に創刊された英文誌で、年数回発行され、各方面から注目を集めています。2003年にはアメリカ国立医学図書館のデータベースMedlineに収録され、国際学術雑誌として認知されました。その後、世界でも最も権威のある学術文献データベースWeb of Scienceに収録され、2009年6月には初めてインパクトファクター(IF)*が付与されました。さらに、2012年6月には5-Year IFも付与されました。

歯科医学・口腔外科学分野で2015年2月現在このIFを付与されている学術誌は、世界中で83誌、日本関係ではわずか3誌しかありません。その中で「Odontology」のIFは1.538(2015年)にランクされており、日本の歯科関係の学会が発行する歯科医学雑誌のなかで最高の評価を得ています。

*IF(インパクト・ファクター)とは ある学術誌に掲載された1論文が、一流の国際誌に平均どれくらい引用されたかを示す指標であり、国際誌の影響度を表す値として使われています。

Message

生命歯学に欠かせない 多岐にわたる重要研究の場



澤田 幸作 講師
Kosaku SAWADA
先端研究センター
顎顔面骨臨床応用学

我々が研究活動を行う際、先端研究センターを頻りに利用します。

この施設では、研究機器が充実しているため、生体組織の詳細な観察、金属や人工骨等の新規の歯科材料の元素解析、培養細胞を用いた分子レベルの実験など、生命歯学には欠かせない、多岐にわたった重要な研究が行われています。

また、共同利用施設であるため、基礎研究者だけでなく、臨床医も研究を行っており、各々の専門の

枠を越えた交流の場としても活発に利用されています。この世界に誇れる研究施設のおかげで、交流は学内に留まることなく、国内外の多くの大学との共同研究も発展し続けています。

このような研究活動は、世界に向けて新しい知見の発信、高度な歯科医療の発展、後進教育への活用といった形で還元されています。これは大学教員にしかできない重要な使命だと考え、我々は誇りを持って研究を遂行しています。



今野 歩 先生
Ayumi KONNO

2008年日本歯科大学新潟生命歯学部卒業。
横浜市歯科保健医療センター障がい者歯科
診療部門診療医。歯学博士。
2009年昭和大学歯学部全身管理歯科学講座
歯科麻酔科学部門入局。
2016年同大学院歯学研究科修了。
2017年より現所属。
日本歯科麻酔学会認定医・専門医。

可能性は無限大!

私は大学進学を機に地元の千葉を離れて新潟を訪れました。初めて上越新幹線に乗った時の不安感を今でも覚えています。

学生時代には、辛い時、悲しい時、楽しい時、いつでもすぐに大学の近くに住む友人が集合し、たくさん笑って、助け合いました。このような青春を過ごせたのは新潟校だからこそだと感じています。

卒業後は、昭和大学歯科麻酔科での臨床研修をきっかけに歯科医療における全身管理の必要性や身体の生理的反応に面白さを感じ、歯科麻酔科学を習得しようと決意しました。同大学の大学院へ進学し基礎研究にも携わりました。臨床では医学部での医科麻酔研修で研鑽を積むと同時に、歯科医師としての自分の存在意義を強く考えるようになりました。

そして昨年、障がい者歯科へとフィールドを移し、新たな挑戦を始めたところです。障がい者歯科とは、知的、身体、精神的に障がいを持つ患者さんの口腔内を専門的に診る診療科です。受診している患者さんは、できること、気を付けること、すべてが大きく違い、一人ひとりオーダーメイドの対応が求められます。私が勤務するセンターでは年間約1万人の患者さんが受診し、必要に応じて全身麻酔下で歯科治療を行います。患者さんに安全で快適な質の高い歯科治療を提供できるよう日々奮闘しています。

最後に、皆さんは歯学を通じてさまざまな分野に挑戦することができます。可能性は無限大です。歯を削って治すことは大切な基本ですが、それ以上の仕事があります。学生時代に多くのものに興味を持ち、いろいろな経験を積むことが、将来に向けての大きな可能性への糸口になると思います。全国にいる先輩方が皆さんの活躍の場を温めてお待ちしております。

先輩からのメッセージ

Message

患者さんの笑顔のために

「お世話になります」と言ってお入室される患者さん。秩父地方で昼夜を問わず使われる親しみを込めた挨拶です。

患者さんのほとんどは歯科治療に対する恐怖心や苦手意識を持つ方々です。「お変わりないですか?」と聞きながらはじまる世間話。趣味や仕事、家族のことなど話が弾みます。時には声をひそめて悩み相談も始まります。そのような会話の中で、その方の生活スタイルや考え方などを把握して、治療に対するご希望を伺っていきます。

大学で教えていただいたスタンダードな治療をベースに、その方にとって最善の治療とは何なのかを一緒に決めていく。歯科治療は歯科医師と患者さんの共同作業で成り立ちます。

「お世話になりました」と笑顔で退室される患者さん。辛く痛い治療であっても、いつでもどんな時でも笑顔でお帰りいただくのが目標です。「終わるのがさみしいです」と長い治療期間を終えてリコールに入る患者さんが言ってくる時にやりがいを感じます。

慕われて頼られる歯科医師になるために、私たちは一生勉強して知識と技術の引き出しを増やしていかなければなりません。

大学卒業後も縦・横のつながりが強く、先輩・後輩との接点が多いのが伝統ある日本歯科大学の特長だと思います。いろいろな研修会、大学主催の学術フォーラム、ポストグラデュエートコース、女性歯科医師の会に参加し、これからも日々研鑽していきたいと考えています。

すべては患者さんの笑顔のために!!



[左]
嶋田 早苗 先生
Sanae SHIMADA

1995年日本歯科大学新潟歯学部卒業。
「しまだ歯科医院」副院長。有床義歯学会、
日本アンチエイジング歯科学会、Er: YAG
レーザー臨床研究会などに所属。

[右]
嶋田 出 先生
Izuru SHIMADA

1993年日本歯科大学新潟歯学部卒業。
埼玉県秩父郡小鹿野町「しまだ歯科医院」
院長。



グローバルな学術交流活動を展開

本学とミシガン大学歯学部で、1985年5月に「口腔保健のための国際姉妹校連合」(International Union of Schools of Oral Health 略称 IUSOH)を結成しました。この活動は両大学を軸として、世界各国の主要な歯科大学をリングで連携し、1校単位の姉妹校関係ではできない、国際的な学術交流活動を展開しようというグローバルな構想です。本学の姉妹校は現在世界16ヵ国18校の歯科大学にのぼっています。1985年より本学新潟生命歯学部、ミシガン大学、本学生命歯学部、マンチェスター大学において「国際歯学研修会」が開催されています。



IUSOHニュースレター



スペイン、バルセロナでのIUSOH代表会議



オーストラリア、ブリスベンでのIUSOH代表会議



カナダ、トロントでのIUSOH交歓会

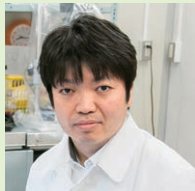


ブリティッシュ・コロンビア大学 7

ミネソタ大学 2
メリーランド大学 16
ペンシルバニア大学 12

姉妹校・提携校への留学

世界で学び、 母校に還元



竹澤 康二郎 助教
Kojiro TAKEZAWA
日本歯科大学
解剖学第1講座

私は2015年9月から2017年9月までオーストラリアのアデレード大学歯学部で留学させていただき、系統解剖学研究と医学部・歯学部の教育を行いました。日本と異なる研究手法や教育の違いに初めは戸惑うこともありましたが、非常に貴重な経験となりました。

日本歯科大学はIUSOHを通じて国際交流が盛んであることが一つの特長です。特に、学生同士の交換留学や、若手の教員・研究員を対象とした支援が充実しており、グローバルな交流をすることができます。

私が留学を通じて感じたことは、国際的な交流は「異文化を体験する・他国に友人や研究者同士の関係を築く」というだけでなく、「新たなものを生み出す可能性を秘めている」ということです。私はアデレード大学のチームと交流することで、お互いを高め合うことができたと思います。



アデレード大学の同僚と



今後は今回築いた良好な関係を維持しながら両大学の架け橋となり、日本歯科大学に貢献していきたいと思っています。これからも多くの後輩がIUSOHを通して交換留学や研究留学を経験し、日本歯科大学や日本の歯科界の発展に寄与してくれることを祈っております。

日本歯科大学国際姉妹校・協定校(提携順)

校章	提携年/大学名/所在地
1 	1971年 中山医学大学 台中市(台湾)
2 	1984年 ミシガン大学 アンナーバー(アメリカ)
3 	1985年 パリ第7大学 パリ(フランス)
4 	1985年 四川大学 華西口腔医学院 四川省成都(中国)
5 	1986年 ベルン大学 ベルン(スイス)
6 	1986年 ヘブライ大学 エルサレム(イスラエル)
7 	1987年 ブリティッシュ・コロンビア大学 バンクーバー(カナダ)
8 	1987年 マンチェスター大学 マンチェスター(イギリス)
9 	1988年 マヒドン大学 バンコク(タイ)
10 	1991年 トゥルク大学 トゥルク(フィンランド)
11 	1992年 フィリピン大学 マニラ(フィリピン)
12 	1993年 ペンシルバニア大学 フィラデルフィア(アメリカ)
13 	1997年 アデレード大学 アデレード(オーストラリア)
14 	1997年 オタゴ大学 ダニーデン(ニュージーランド)
15 	2005年 国立モンゴル健康科学大学 ウランバートル(モンゴル)
16 	2006年 メリーランド大学 ボルチモア(アメリカ)
17 	2012年 香港大学 香港(中国)
18 	2015年 ダヌーベ・プリバード大学 クレムス(オーストリア)

新潟女子寮



吉田 ひかり
Hikari YOSHIDA

新潟生命歯学部 2年
[茨城県古河市出身]

一人暮らしの大学生活を強力サポート!

日本歯科大学の女子寮は大学から徒歩5分の距離にあり、とても通いやすいです。

各部屋には冷蔵庫やエアコンなどの家電、キッチン、バス・トイレも設置されているため快適に過ごすことができます。そして共同のランドリー室には洗濯機と乾燥機も備え付けてあり、天気の悪い日や夜の洗濯でも心配ありません。

寮の玄関はオートロック式で、それぞれの部屋にもカードキーが付いているので、セキュリティ面でもばっちりです。さらに優しい寮母さんも常駐しているので困った時にはすぐに相談でき、自分が部屋にいない時でも宅配便などを受け取ってもらえます。

そしてロビーには自動販売機、テレビ、机、

コピー機があり、友達と勉強したり、集まってテレビを見ておしゃべりしたりするくつろげる場所になっています。

私たちの寮には、歯科大学ならではの歯科技工室もあり、大学の実習課題を持ち帰って行うことができるので勉強にも大変いい環境になっています。

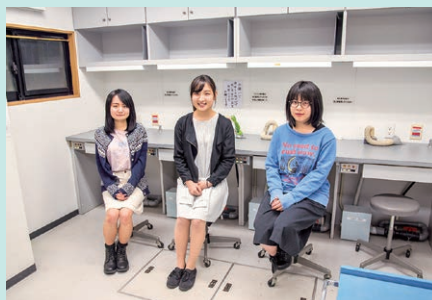
慣れていない環境での一人暮らしは不安もあるかもしれませんが、寮の友達や先輩たちともすぐに仲良くなれるので、生活面と勉強面どちらも充実した大学生活になること間違いなしです!



玄関はオートロック式。寮室はカードキーを使用します



ロビーは楽しいおしゃべりの場にもなります



歯科大学の寮ならではの技工室もあります

名称	日本歯科大学新潟生命歯学部新潟寮
所在地	新潟市浜浦町
通学時間	新潟生命歯学部より徒歩約5分
建物	地上3階
敷地	999.5m ²
室数	30
入寮費	7万円
寮費	月額3万5千円(光熱費など自費)
寮室	Aタイプ: 21.08m ² Bタイプ: 23.46m ²
居室備品	冷蔵庫、ミニキッチン、電気調理器、棚板、机、本棚、ベッド、ミニ単筒、パイプハンガー、バス、トイレ
共用	共同実習室(技工室)、ランドリー室、ごみ収集室、プレハブ倉庫、自転車置場

Let's Enjoy!



CAMPUS LIFE

4月、日本歯科大学新潟生命歯学部に入學すると大きな学校行事が続きます。まずは、第1学年オリエンテーション合宿。これから6年間学び合う友と親睦を深めます。5月の連休には生命歯学部との合同合宿。6月の浜浦祭では、先輩、後輩の垣根を越えて学生全員で学園祭を盛り上げます。クラブ活動や、志を同じくする仲間とともに、あなたのキャンパスライフを創ってください。

学生会は、いわゆる高校の生徒会のような立ち位置にある組織であり、学校行事の運営に携わっています。1年生から5年生まで和気あいあいと、学年の垣根を越えて楽しく活動しています。

日本歯科大学では部活動に始まり地域交流、交換留学生との交流イベントなど、数多くの課外行事が催されています。学生委員会ではこれらの活動を、学生の皆さんや先生方と共に盛り上げることで、充実したキャンパスライフのサポートをしています。

勉学のみならず課外活動にも精力的に取り組むことができるのは、日本歯科大学の大きな魅力だと思います。

さまざまな活動を通じて得た友人や先生方との絆や繋がりは、かけがえない大切なものとなって、多くの場面で私達を強く後押ししてくれます。

皆さんと一緒に学び、笑い合うことができる日を楽しみにしています。

充実した
キャンパスライフを
サポートします!

岸本 豪
Suguru KISHIMOTO

学生委員会委員長
新潟生命歯学部 4年
[東京都大田区出身]



4

入学式
第1学年オリエンテーション合宿
富士見・浜浦フェスタ
クラブ活動週間(合同合宿)



5

富士見・浜浦フェスタ
クラブ活動週間(合同合宿)



6

創立記念日
健康診断
浜浦祭



7

夏期休暇



8

夏期休暇
歯学部学生総合体育大会(歯学体)



9

前学期定期試験



10

後学期授業開始



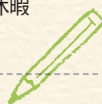
11

卒業試験
冬期休暇



1

冬期休暇



2

後学期定期試験
歯科医師国家試験



3

卒業式



クラブ活動

日本歯科大学新潟生命歯学部クラブ活動は、体育会系、文化会系、学術会系に分かれ、体育会系は全国の歯科大学が集う全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの大会で競い合います。また、文化会系や学術会系は、浜浦祭での発表の機会があります。



陸上部

陸上競技部には男子14名、女子8名の総勢22名が所属しており、日本各所の歯学部が参加する全日本歯科学生総合体育大会(デンタル)に向けて週に2回活動しています。

これまでは練習拠点として最寄りの競技場や体育館を使用してきましたが、今年度から本校グラウンドに陸上レーンが新設されたことにより活動の幅が広がり、非常に充実した環境で練習を行うことが可能となりました。昨年のデンタルでは走り高跳び、三段跳びの2競技で優勝、他競技でも多数の入賞を果たしています。デンタル後は各校歯学部の陸上部と交流会が催され、大変貴重な時間を過ごすことができます。

毎年春には東京校との合同合宿が福島県猪苗代で開催されます。広大な自然に囲まれた競技場で新潟校、東京校の隔たりなく、一つのチームとして共に汗を流し、深い絆が生まれます。

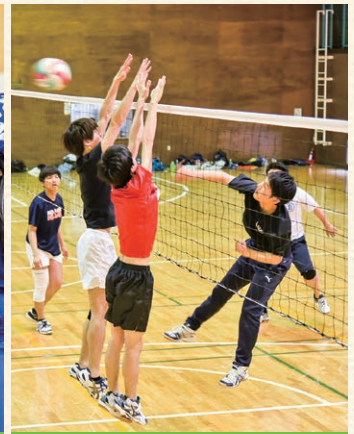
入学したらぜひ、
部活重かに
参加してください!



久代 航佑
Kosuke KUSHIRO
陸上部主将
新潟生命歯学部5年
[山口県岩国市出身]



剣道部



バレー部



サッカー部

充実した環境を誇る スポーツ施設



体育館の1階にはトレーニングルームが完備されています。ランニングマシンやエアロバイク、ベンチプレスや腹筋を鍛えるマシンもありますので、それぞれの用途に応じて身体を鍛えることができます。また、全面に人工芝を敷いたグラウンドはサッカーなどのクラブ活動で使用されており、学生からは好評を得ています。



ワンダーフォーゲル部



柔道部



スキー部



ラグビー部



空手部



微生物学グラウンド



華道同好会



少林寺拳法部



写真部

■ 体育会系

- ウィンドサーフィン部
- 空手道部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- サッカー部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトテニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ボウリング部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- スキューバダイビング同好会
- スノーボード/サーフィン同好会
- フットサル同好会

■ 文化会系

- 軽音楽部
- 国際交流部
- 写真部
- シネマ倶楽部
- PMA
- 温泉卓球同好会
- 華道同好会
- 茶道同好会
- 自動車同好会
- ESS同好会

■ 学術会系

- 解剖学グラウンド
- 歯周病学グラウンド
- 微生物学グラウンド
- 病理学グラウンド
- 放射線学グラウンド
- 麻酔学グラウンド
- SCRP

合同合宿

毎年早春のクラブ活動週間には、新潟と東京の両生命歯学部による合同合宿が約1週間にわたって行われ、ともに汗を流します。両生命歯学部の交流の場として、なくてはならないイベントです。



4 月末に開催される富士見・浜浦フェスタでは、東京校と新潟校が同じ宿泊施設で出身都道府県毎にグループに分かれて、いくつかの議題を話し合い、それを全員の前で発表します。その日初めて会う人と議論し合うという機会はあまりないので、とても新鮮で緊張しましたが、グループ構成が同じ出身地の人ばかりなので、地元の話で会話はずみ、楽しくスムーズに話し合いが進みました。

その後の合同合宿では、両校の同じ部活動の人と一緒に福島の地で汗を流します。お互いの練習内容や、取り組み方の違いなどが分かりとても勉強になりましたし、夏の全日本歯科学学生総合体育大会へのモチベーションも高めることができました。練習場所はとても広大で空気が澄んでおり、外で部活をするのにはもってこいのところだと、毎回訪れる度に思います。

新潟校と東京校の貴重な交流の場です

町田 東子
Toko MACHIDA

新潟生命歯学部5年
[栃木県小山市出身]



富士見・浜浦フェスタ

「富士見・浜浦フェスタ」は新潟生命歯学部・生命歯学部の第4学年を対象に行われる合同ワークショップで、2017年は福島県猪苗代で開催されました。

“望まれる歯科医師像とは”をテーマとし、1泊2日の緊密なスケジュールで、新潟校と東京校の学生を混合した班分けをし、課題にしたがい議論を重ね、発表を行います。これにより、日本の歯科医療に貢献する歯科医師となるために、全国29校の歯科大学・歯学部を先導する日本歯科大学特有のプロフェッショナリズムを身に付けることを目標としています。



浜浦祭



浜浦祭は6月に開かれます。新潟短期大学の学生も参加し、学内の敷地には模擬店が並び、特設ステージではイベントがいろいろを添えます。歯科大学ならではの無料歯科相談や公開講座も行われます。



お待ちして
まーす☆



対外試合も
やってるよ!



オープンキャンパスも
同時開催!



公開講座



無料歯科診断

浜浦祭は、毎年6月第2週の週末に開催される学生主体で行われる学園祭です。毎年お笑い芸人さんやご当地アイドル、声優さんなどをお呼びしたスペシャルライブを行うほか、講堂や特設ステージでの催しも開かれます。

各部活の模擬店のほか、音楽系サークルのライブや文化系サークルの展示など見どころもたくさんあります。また、新潟病院では本学学生による無料歯科相談、アイヴィホールでは一般の方に向けた公開講座も同時に開催され、学内の先生による講演には毎年多くの方にご参加いただいています。

学生だけでなく、地域住民の方や来場された方全員が楽しめるような学園祭になるよう実行委員長として盛り上げていきたいと思っています。

八藤後 亮
Takashi YATOGO

浜浦祭実行委員長
新潟生命歯学部3年
[新潟県新潟市出身]



来場者全員が
楽しめる文化祭
を企画します!

MY NDU LIFE

日歯新潟に通う先輩たちはふだんどんな生活をしているのかな？
先輩たちのある1日をちょっとのぞいてみよう！



坂井 陽
Minami SAKAI
新潟生命歯学部2年
[新潟県新潟市出身]

バランスのとれた学校生活

私の一日は朝のお弁当作りから始まります。その後、自転車で登校し1時間目の授業を受けます。

第1学年の前期は高校の延長の一般教養科目が中心ですが、その他に自然科学実習で解剖したカエルの標本を作ったり、早期臨床実習では病院見学をしました。後期は実際に歯科器具に触れたり、歯科材料の勉強もはじまって、歯学部生になった実感がわいてきました。

放課後は部活動に参加しています。私の所属するバスケットボール部は夏の大会に向けて日々活動をしています。時にはバーベキューをしたり、先輩にご飯に連れていってもらったりと男女関係なく仲の良い部活です。先輩からの勉強のアドバイスはとても頼りになりますし、目上の人に対する礼儀作法も学ぶことができ、入部してとてもよかったと感じています。

また入学してたくさんの友達ができました。一緒に試験勉強をしたり、休日には食事やショッピングに行ったりします。

講義を休まず受け、放課後から部活まで隙間時間に勉強することで、運転免許もとりアルバイトもはじめました。勉強、部活、遊びのバランスのとれた学校生活を送れていると思います。

これからも歯科医師になるという夢に向かって、日々努力していきたいです。

坂井さんのある1日



天気の良い日は自転車で通っています



マルチメディア臨床基礎実習室を使用した実習もあります



お昼は朝作ったお弁当をクラスメイトと一緒に食べます



午後の授業もしっかり集中して受講します

■第1学年時間割

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
8:45	健康科学	基礎独語	生活と環境	材料科学	ファンダメンタルスキル実習Ⅱ
10:30	熱と物質の物理	総合英語	ヒトの一生	国語表現法	ファンダメンタルスキル実習Ⅰ
12:00	お昼休み				
13:00	経済学	基礎科学	自然科学実習	青年心理学	歯科医学入門演習(PBL)
14:45	自然現象の数学			医学概論・歯科医学史	
16:30	生体物質の化学			細胞の生物学	
18:00	図書館で勉強	アルバイト	バスケットボール部	ITセンターで勉強	バスケットボール部

□は実習





病院実習を通じて新しい発見の毎日

毎朝 8 時 30 分に登校し、当日の症例に備えて治療の流れの確認や、治療の準備をします。

9 時から病院実習が始まり、診療や手術の見学と補助を行います。座学で理解したつもりになっていたことが、臨床の場で自ら見聞することで理解が深まり知識が定着していきます。わからないことや疑問を持ったことは、担当医の先生にリアルタイムで教えてもらえます。

登院前の座学で、疾患の特徴・対処法を学んできましたが、臨床の場では同じ疾患であっても患者さんや症例ごとに対応や対処が違い、私たちの目指す歯科医師は患者さんや症例ごとにオーダーメイドな医療を提供しなければいけないと考えさせられます。印象に残っているのが口腔外科です。歯科医師なのに金属の歯や入れ歯を作ることよりも、診療室でメスを持って粘膜を切ったり、顎の骨を削ったりすることで病気を治す先生が毎日患者さんを治療しています。口腔外科には手術室と病棟もあります。歯科医師だけではなく多くの医療従事者と連携して全身管理はもとより、ご家族の心配事や患者さんの社会復帰までお手伝いしています(こんな関わり方もあるんだ!と思いました)。

18 時にあつという間に 1 日の実習が終わります。帰宅前に今日一日の実習を振り返り、頭の中を整理します。放課後は、班のメンバーとご飯に行ったり、カフェで自主学習。週休 2 日なので週末は自分の時間を満喫♪臨床実習中心の第 5 学年は本当に楽しくあつという間の 1 年間ですよ。

梁 由美
Yumi RYO
新潟生命歯学部 6 年
[新潟県村上市出身]

梁さんのある1日



毎朝 8 時 30 分に登校します

総合診療科で患者さんの診療をします

少し遅めのランチをGAKUSHOKUで

小児歯科でブラッシング指導も行います

■ 第 5 学年時間割

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
8:45					
10:30	病院実習	病院実習	病院実習	医科病院 (耳鼻科) 実習	病院実習
12:00	お昼休み				
13:00	病院実習	病院実習	在宅診療実習	病院実習	地域保健実習
18:00	ITセンターで勉強	セミナー室で勉強	学習室で勉強	カフェで自習	友達とご飯

□ は実習

1日の糸締め(CITセンターで
免状引き直し)帰宅します



すてきNIIGATA!

新潟生命歯学部のある新潟市中央区は市の中心に位置し、緑も多く生活に便利なところ。皆さんが大学生活を送る魅力たっぷりの新潟市のおすすめスポットをご紹介します。

西海岸周辺

新潟生命歯学部のすぐ近くにある関屋浜の夕日①は「絶景」の一言。マリニピア日本海②は本州日本海側最大級の水族館。大人気のイルカのショーはチャンスがあればステージに参加することもできます。



①関屋浜の夕日 ②マリニピア日本海

古町周辺

昔ながらの街並みを残す古町エリアには、多くのお店が連なる古町モールがあります。新潟名物たれかつ井で有名なとんかつ太郎④も古町にあります。初詣や新潟まつりで賑わう白山神社⑤も古町エリアから少し足をのびたところにあります。



④とんかつ太郎 ⑤白山神社

柳都大橋周辺

朱鷺メッセ③はさまざまなイベントが開催されるコンベンションセンター。31階にある展望台からは市内を一望することができます。信濃川の河口にあるみなとびあ⑥は新潟市の歴史博物館です。



③朱鷺メッセ ⑥みなとびあ

万代周辺

日本百名橋のひとつ万代橋⑦付近は、大型ファッションビルのLoveLa万代やLoveLa2⑧、映画館の入るビルボードプレイスなどが立ち並ぶ新潟市一の繁華街。万代シティバスセンターには大人気のカレーが食べられるお蕎麦屋さんがあります。ぜひ一度お試しを！



⑦万代橋 ⑧LaveLa2

やすらぎ堤周辺

りゅーとびあ⑨はコンサートホールや劇場などを備えた新潟市民芸術文化会館。やすらぎ堤⑩は信濃川下流の堤防で、新潟市政100周年植樹祭で植えられた桜と柳が河川沿いに続き、市民の憩いの場となっています。



⑨りゅーとびあ ⑩やすらぎ堤

スポーツ観戦

Jリーグ、アルビレックス新潟の本拠地がビッグスワンスタジアム⑪。試合開催の当日は熱狂的サポーターで超満員になります。その隣にはHARD OFF ECOスタジアム⑫がありプロ野球の公式戦も開催されます。



⑪デンカビッグスワンスタジアム ⑫HARD OFF ECOスタジアム

NIIGATA CITY MAP

全国各地から学生が集まっています！

新潟市は、毎年100万人が利用する新潟空港や、関越自動車道、北陸自動車道、さらに東京まで最短97分の上越新幹線などインフラが整っており、全国から学生が集まっています。そんな故郷を離れ新潟で学ぶ学生の声をお聞かせください。

海外の都市にも直行！

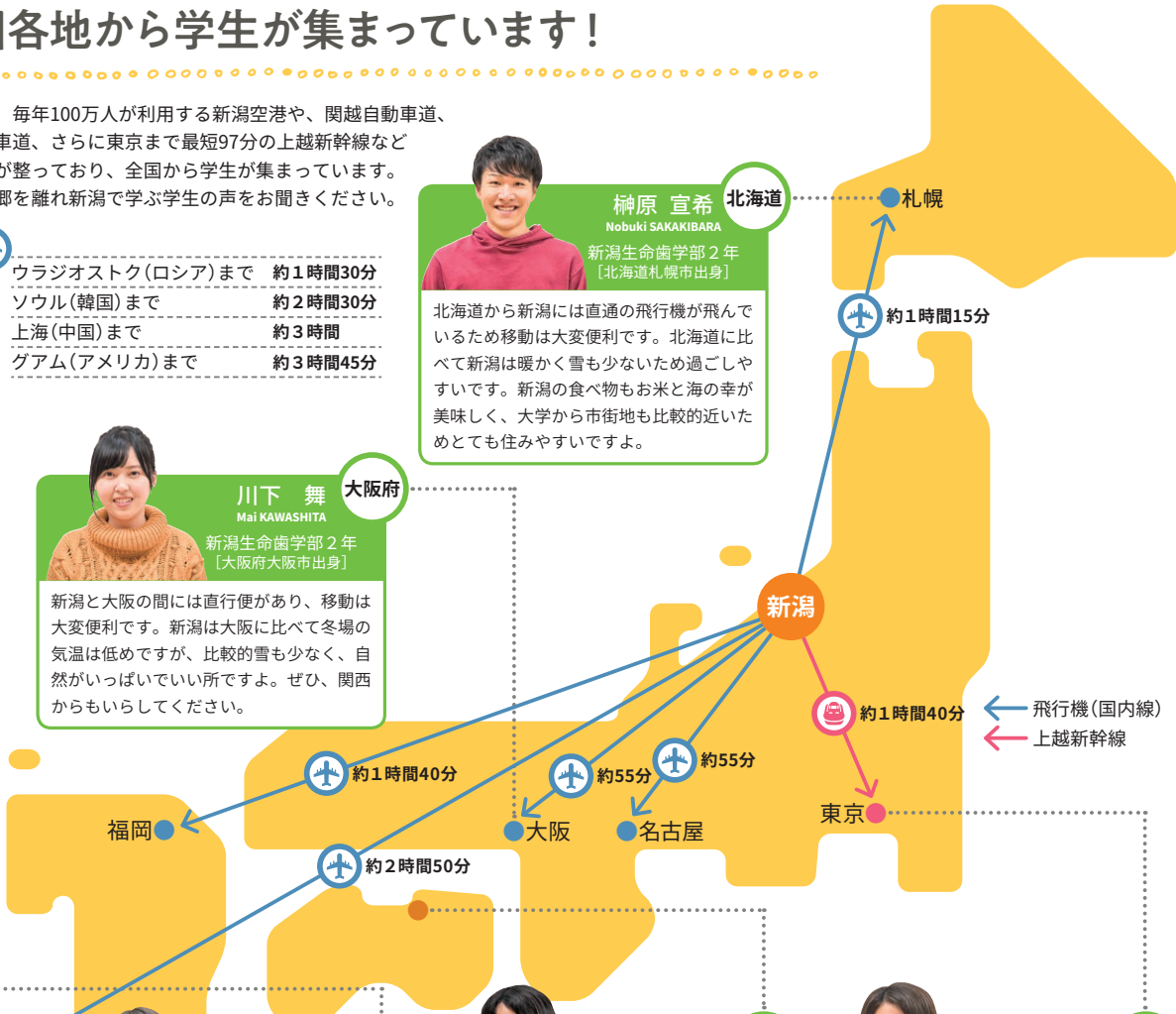
- ウラジオストク(ロシア)まで 約1時間30分
- ソウル(韓国)まで 約2時間30分
- 上海(中国)まで 約3時間
- グアム(アメリカ)まで 約3時間45分

榊原 宣希 北海道
Nobuki SAKAKIBARA
新潟生命歯学部2年
[北海道札幌市出身]

北海道から新潟には直通の飛行機が飛んでいるため移動は大変便利です。北海道に比べて新潟は暖かく雪も少ないため過ごしやすいです。新潟の食べ物もお米と海の幸が美味しく、大学から市街地も比較的近いためとても住みやすいですよ。

川下 舞 大阪府
Mai KAWASHITA
新潟生命歯学部2年
[大阪府大阪市出身]

新潟と大阪の間には直行便があり、移動は大変便利です。新潟は大阪に比べて冬場の気温は低めですが、比較的雪も少なく、自然がいっぱいでいい所ですよ。ぜひ、関西からもいらしてください。



長嶺 和花 沖縄県
Waka NAGAMINE
新潟生命歯学部2年
[沖縄県那覇市出身]

新潟と沖縄では距離がとても遠いですが、飛行機の直行便もあって移動には困りません。寒さや雪が心配でしたが新潟市内はあまり降らないので安心しました。ぜひ、沖縄からもいらしてください。

大西 真穂 香川県
Maho ONISHI
新潟生命歯学部2年
[香川県観音寺市出身]

香川から新潟へは電車を使って主に移動しています。瀬戸大橋を渡った後は、新幹線を使って岡山、東京と経由して新潟まで移動しています。新潟は気温に関しては香川とあまり差を感じませんのでとても過ごしやすいです。

田島 那菜 東京都
Nana TAJIMA
新潟生命歯学部2年
[東京都中野区出身]

東京から新潟は新幹線でたったの2時間。新潟と聞いて初めは田舎のイメージがあったのですが、新潟駅周辺はたくさんお店があり賑わっています。住んでみると自然が近くにありながらも賑わいもあるのでとてもいい所です！

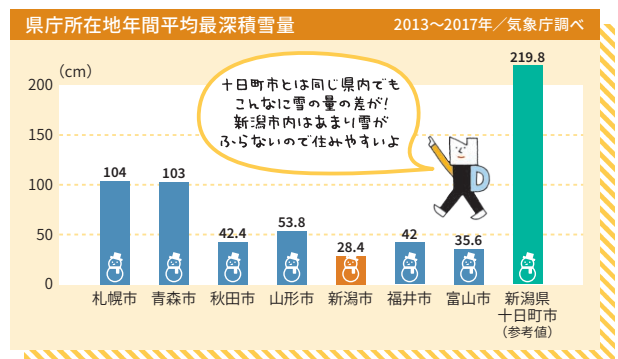
日本海側最大の交通拠点

毎年約100万人が利用する新潟の空の玄関口、新潟空港。国内線は北は札幌から南は沖縄まで、多くの主要都市と直通便が通っています。国際航路もソウルをはじめ多数の直行便が開設されています。東京へは、上越新幹線で最短97分！ 関西方面へのアクセスも充実しています。関越自動車道や北陸自動車道などの高速道路も整備されており、車、高速バスの移動も便利です。また海路も新日本海フェリーでは、新潟を經由して敦賀と北海道を結んでいます。2007年、政令指定都市に制定された新潟は、日本海側最大の都市として発展を続けています。

年中通して過ごしやすい気候

新潟といえば雪深く寒いというイメージですが、右のグラフからもわかるように内陸部は別として、新潟市は降雪量は少なく、積もることはあまりありません。1、2月の最低気温も氷点以下になることがま

れです。また、夏季の平均気温もそれほど高くないことから、1年を通してとても過ごしやすい都市といえます。





総楊枝(ふさようじ)を使う女性の浮世絵



『解体新書』
『ターヘルアノミア』
日本語訳

『ターヘルアノミア』原著



国内外の医学資料を公開

日本で初めて開設された公的な医学博物館です。15世紀から現在に至る東西の古医書、医療器械器具、その他記録類などを一般公開しています。なかでも解体新書の原本や、房楊枝を使って歯磨きをする江戸時代の浮世絵

など、普段目にしない珍しい資料が多く、興味が尽きない博物館です。姉妹館として、パリのピエール・フォシャール博物館、アメリカのハートフォード医学・歯科医学歴史博物館、中国の中国口腔医学博物館があります。



聴診器



B. S. アルビヌス『人体筋骨構造図譜』

歴史が凝縮された異空間



横田 あすみ

Asumi YOKOTA

新潟生命歯学部2年
[神奈川県茅ヶ崎市出身]

展示品でびっしりと埋め尽くされた館内は、まさに歴史が凝縮された空間です。

第1学年では医学と歯科医学の歴史の授業があるのですが、医の博物館にある貴重な医学書や医療器具の実物を見ることによって、記憶に鮮明さが増しました。また、疑問が生じた際、学芸員さんに伺うことができ、さらに理解が深まりました。

今は瞬時に膨大な情報が集まる時代ではありますが、かつての人々と同じように実際に見聞きすることで、継往開来の精神が養われ、医学を学ぶ上でプラスになると思います。



校友会歯学会入会歓迎会

歯科界の向上を目指して

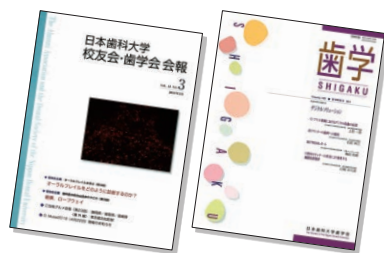
新潟生命歯学部と生命歯学部の卒業生は、同窓生の組織である「日本歯科大学校友会」と学術組織である「日本歯科大学歯学会」に加入します。なお、同じ年度に新潟生命歯学部あるいは、生命歯学部を卒業した者は、互いに区別なく同じ卒回の校友会員となります。

本校校友会は、わが国における歯科大学の同窓会組織としては、最大規模を誇っています。そして、校友会員として先輩・後輩と固い絆に結ばれて、歯科界において有形無形に協力しあって、自らの向上に務めています。

校友会と歯学会は協力して、生涯研修活動を実施しています。毎年地区を巡って開催する「歯学研修会」と、本

学に集って行う「ポストグラジュエート・コース」および本学独自の企画である「国際歯学研修会」の三本立てで卒業研修を行っています。

このように卒業後も本学との関係を密接に保ち、研修会、定期刊行物などを通して、歯学界の発展という共通の目標のもと、生涯にわたり学術研鑽への道を歩み続けています。



校友会・歯学会が発行する『校友会・歯学会会報』は年4回。『歯学』は臨床と研究を一体とした学際的内容が中心。年2回発行。

Message

ようこそ日本歯科大学校友会へ



宮川 慎二郎 先生
Shinjiro MIYAGAWA

日本歯科大学新潟歯学部75回卒業
日本歯科大学校友会 常務理事
医) 落合歯科医院理事長

私は新潟校を卒業し、現在小児歯科医として開業医をしています。大学時代はボート部に所属し、閑屋分水で汗を流していました。ずいぶん様変わりしているのですが、この大学に来ると、懐かしくほっとした気分になりやはり母校というのは素晴らしいです。

本学は2万余名の卒業生を抱える世界最大の歯科大学で、卒業後に何処に行かれたとしても、母校の先輩方に見守っていただけます。

校友会といっても学生の皆さんはピンとこないかもしれませんが、卒業して開業する頃は周りに同級生はいなく、不安になったり困った時の相談相手もいません。そんな時、経験豊富な先輩が助けてくれます。日本歯科大学校友会の団結は強く、他校のものとは全く違います。

私の場合、実家が歯科とは関係のない職業でしたので、卒業時に不安がありました。小児歯科医師を目指し、千葉の大きな診療所に勤務しました。この時も知り合いがないのに小児歯科の診療所にすぐに勤められたのは、日本歯科大学出身のおかげでした。当然、日本歯科大学校友会の先生の診療所でした。開業の時にも日本歯科大学の先輩に助けられました。

校友会は卒業生をまとめ、日本歯科大学を支える組織です。困った時には何でも相談に乗ってくださる先輩方がいますので遠慮なくご連絡ください。



国際歯学研修会

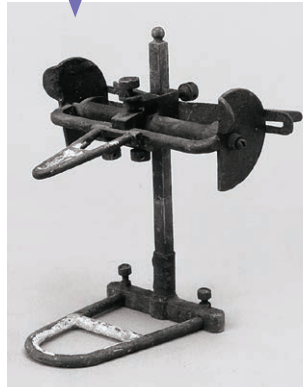
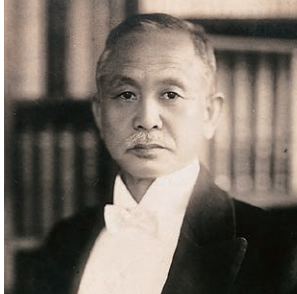


学術フォーラム

日本歯科大学創立111年のあゆみ

創立者 ● 中原市五郎 先生

歯科界のパイオニアとして



中原式咬合器

創立者中原市五郎は、慶応3年長野県上伊那郡下平村(現在の駒ヶ根市赤穂村)に生まれる。明治22年5月歯科医術開業免許を受け、23年中原歯科医院を開業。一方麹町区会議員となり、子どもたちの口腔衛生の向上に努める。これは学校歯科医制度の先駆けで、『児童と歯牙の関係』も刊行した。

10数年来念願であった歯科専門機関の創設に向けて力を注ぎ、40年6月私立共立歯科医学校を設立。44年2月、日本歯科医学専門学校校長に就任。大正4年9月メリーランド大学より学位ドクトル・オブ・サイエンスを贈られる。8年12月日本歯科医学専門学校理事長に就任し、本学発展の基盤を築いた。昭和11年8月名誉校長となる。若い頃からの熱心な勉学、旺盛な研究心で、中原式咬合器など歯科医学に関する多くの発明もある。書、俳句、短歌を好む。16年3月22日逝去、75歳。

名誉学長 ● 中原 實 先生

芸術、教育、医療人として
頂点を極めた巨匠



撮影：秋山庄太郎



ヴィーナスの誕生
(油彩・カンバス)
115×90cm

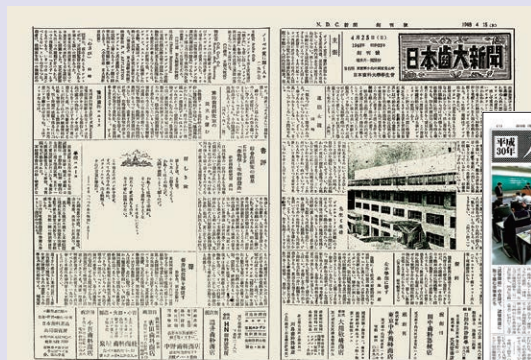
中原實は大正4年日本歯科医学専門学校卒業。7年ハーバード大学歯学科卒業。第一次大戦の真つただなかに渡欧。パリで義勇兵を志願し、仏国歯科軍医として、ヴァル・ド・グラス陸軍病院、ピッシーの第45戦時病院に勤務、顔面戦傷の兵士の治療にあたった。終戦後、歯科教育事情視察のため、ヨーロッパ各地に滞在。一方、西欧の絵画芸術に魅せられ、安アパートに住まい、モデルのデッサンに励み、ルーブル美術館や画廊をめぐり、若きピカソと一緒に絵を描き、藤田嗣治と意気投合するなど、絵画芸術に傾倒した。大正12年帰国し本学教授となる。昭和16年本学理事長に就任。37年日本歯科医師会会長となる。47年日本私立大学協会会長。自ら絵筆を取り、二科会理事の任にも就く。その作品はわが国を代表する前衛画家として今も光彩を放っている。平成2年10月15日逝去、99歳。

日本歯科大学新聞

『日本歯科大学新聞』は昭和23年4月に創刊され、すでに640号を超える本学の新聞。創刊当初は学生が主体となり編集作業を行っていた。昭和47年からは学内報として現在と同じ小型のタブロイド版となった。

創刊号と第2号は散逸していたが、姉妹校のメリーランド大学図書館に収蔵されていることがわかり、現在は日本の国立国会図書館でもマイクロフィルムで閲覧できる。

年8回発行。1年間の縮刷版も発行している。



日本歯科大学新聞創刊号(昭和23年)



創立110周年式典を伝える
日本歯科大学新聞640号(平成28年)

日本歯科大学新聞648号(平成30年)

1867	(慶応3年)	5月	中原市五郎、長野県にて生まれる
1889	(明治22年)	6月	歯科医術開業試験に合格し、麴町で開業
1907	(明治40年)	6月	中原市五郎、私立共立歯科医学校を麴町区(千代田区)大手町に創立
		8月	神田区(千代田区)神田雉子町34番地に移転
1909	(明治42年)	6月	麴町区富士見町に移転、私立日本歯科医学校と改称
1911	(明治44年)	2月	中原市五郎、校長に就任
1919	(大正8年)	12月	財団法人日本歯科医学専門学校に昇格。中原市五郎、理事長に就任
1936	(昭和11年)	9月	中原市五郎、名誉校長となり、加藤清治、校長に就任
1941	(昭和16年)	3月	中原 實、理事長に就任
1947	(昭和22年)	6月	旧制日本歯科大学に昇格、大学予科を開設
1948	(昭和23年)	1月	中原 實、学長に就任
1951	(昭和26年)	2月	学校法人日本歯科大学となる
1952	(昭和27年)	4月	新制日本歯科大学となる
1960	(昭和35年)	4月	大学院歯学研究科(博士課程)を設置
1968	(昭和43年)	4月	附属日本歯科技工専門学校(歯科技工士科)を設置
1971	(昭和46年)	4月	附属日本歯科技工専門学校を附属歯科専門学校と改称、歯科衛生士科を増設
1972	(昭和47年)	4月	新潟歯学部を増設
		4月	中原 爽、学長に就任
1981	(昭和56年)	6月	新潟歯学部附属医科病院を開院
		4月	附属新潟専門学校(歯科衛生士科)を設置
1983	(昭和58年)	4月	附属新潟専門学校(歯科衛生士科)を設置
1984	(昭和59年)	8月	中原 爽、理事長に就任
1985	(昭和60年)	5月	本学主導の「口腔保健のための国際姉妹校連合IUSOH」を結成
1987	(昭和62年)	4月	附属新潟専門学校を新潟短期大学(歯科衛生学科)に昇格
1989	(平成元年)	9月	新潟歯学部に医の博物館を開館
1990	(平成2年)	4月	大学院新潟歯学研究科(博士課程)を設置
1991	(平成3年)	4月	中原 泉、学長に就任
1995	(平成7年)	6月	佐藤 亨、学長に就任
1999	(平成11年)	2月	新潟歯学部に先端研究センターを設置
2000	(平成12年)	4月	中原 泉、学長に就任
		7月	中原 泉、理事長に就任
2005	(平成17年)	4月	附属歯科専門学校を東京短期大学に昇格
		1月	千代田区大手町に「日本歯科大学発祥の地」記念碑を建立
2006	(平成18年)	4月	歯学部を生命歯学部、新潟歯学部を新潟生命歯学部に改称
		6月	創立100周年。100周年記念館を竣工
2012	(平成24年)	10月	東京都小金井市に口腔リハビリテーション多摩クリニックを開院
2016	(平成28年)	12月	新潟生命歯学部生物科学施設改修
2017	(平成29年)	7月	米国国際誌『Foreign Affairs』に本学記事が掲載される
2018	(平成30年)	4月	新潟県三条市に在宅ケア新潟クリニック開院



1909年当時の校舎



1934年当時の附属病院



1972年新潟歯学部入学式



開院当時の新潟病院・医科病院



医の博物館



先端研究センター



創立110周年記念式典



新潟生命歯学部生物科学施設



在宅ケア新潟クリニック

日本歯科大学110年の
歴史をまとめた動画はこちら



■ 学術奨励制度

- ▶ 優秀な人材を育成することを目的として、学力・人物とも優れた者に学術奨励金を支給します。
- ▶ 年度末に選考を行い、各学年10名以内に対し、1名の者に30万円、そのほかの者には各々10万円を一括支給します。
- ▶ 学術奨励金は、返還を必要としません。

■ 育英奨励制度

- ▶ 在学中、不幸にして学費負担者が死去したために修学が困難になった場合、学生の経済的援助を行うことを目的として、育英奨励金を支給します。
- ▶ 育英奨励金は毎月7万円、年額84万円を支給します。
- ▶ 育英奨励金は、返済を必要としません。

■ 特待生制度

- ▶ 入学試験において成績上位者、成績優秀者および地域特待があり、入学金、授業料、教育充実費、施設維持費をすべて半額に減免するという制度です。

学生納付金

	特待生	一般学生
入 学 金	300,000円	600,000円
年 間 授 業 料	1,900,000円	3,800,000円
年間教育充実費	365,000円	730,000円
年間施設維持費	300,000円	600,000円
6 年 間 合 計	15,690,000円	31,380,000円

*学費ローンについて 学校法人日本歯科大学では、入学金や授業料の支払いに利用できる学費ローンを信販会社3社と提携しております。
お問い合わせ・ご相談は入試課へ。(025-267-1500)

■ 医科病院が“保健室”代わりに

附属の医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科で構成され、臨床実習などで関連医学を学習します。万一具合が悪くなった場合、医科病院が“保健室”の役割を担っています。また、臨床心理士が毎週来校しており、精神面や生活面に関するさまざまな悩みを相談できます。

■ 保護者説明懇親会

学年ごとに保護者にお集まりいただき、国家試験などの現状を報告するとともに、クラスの指導方針などについて説明しています。



■ 国家試験対策

第1学年から第6学年にかけて、各レベルに応じた整合性のある段階的な教育を実施しています。第

6学年では、これまで学んだ基礎系・臨床系科目の内容と臨床実習での成果をもとに、総合的な歯科医学を徹底的に学びます。

新潟と東京の両生命歯学部との連携

■ 交換授業

日本歯科大学は新潟と東京に2つの歯学部がありますが、同じ教育方針を共有し学生に対し指導しております。その1つとして、さまざまな授業科目で新潟生命歯学部、東京の生命歯学部の教員がお互いに行き来し、授業をする交換授業を行っています。



新潟生命歯学部の教壇に立つ東京校小児歯科学講座の郊部洋行教授

■ 合同ワークショップ

少子高齢化を伴う地域医療、最先端の医療技術など医療はさまざまな対応が迫られています。そうした社会要請にこたえるために、教員および職員の能力向上のため研修を積極的に展開しています。合同ワークショップの期間中、新潟と東京の教職員が昼夜を問わず白熱した議論を交わします。



合同ワークショップ

OPEN CAMPUS 2018

2018年 開催日程(予定)

全日程 開始 11:20(受付 10:30)～終了 16:00

6/9 (土)	6/30 (土)
7/25 (水)	8/7 (火)
8/25 (土)	9/29 (土)

浜浦祭と
同時開催

日本歯科大学新潟生命歯学部 オープンキャンパス

おもなプログラム(予定)



受付では在学生がみなさまをお出迎えいたします。



最初に教員や在学生による説明会を実施します。



マルチメディア臨床基礎実習室を使って実習を体験できます。



ランチを食べながら在学生にさまざまな話を聞くことができます。



学部の施設だけでなく、手術室など新潟病院内も見学します。このほか、女子寮見学や入試個別相談も行っています。

ここがポイント!



マルチメディア臨床基礎実習室のすばらしさを体験

服装は自由(白衣は貸出いたします)

ご家族の同伴も歓迎(保護者説明会も開催予定)

参加者は受験料が免除(1回分)

新潟市外から参加の方へホテル宿泊補助

※AO入試の受験はオープンキャンパスへの参加が条件です。

お問い合わせは 日本歯科大学新潟生命歯学部 入試課

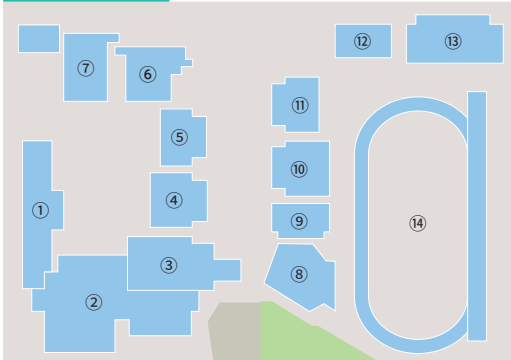
tel. 025-267-1500

詳しくは
Webへ!

日本歯科大学新潟生命歯学部 ホームページ

<http://www.ngt.ndu.ac.jp>

Campus Map



- ① 医科病院
- ② 新潟病院(コンビニエンスストア)
- ③ 本館(事務室・図書館)
- ④ 1号館(アイヴィホール・講義室・マルチメディア臨床基礎実習室)
- ⑤ 2号館(講義室・実習室・ITセンター)
- ⑥ 3号館(新潟短期大学主要校舎)
- ⑦ 先端研究センター
- ⑧ 講堂
- ⑨ 医の博物館、GAKUSHOKU、売店
- ⑩ 4号館(講義室・実習室・セミナー室)
- ⑪ 5号館(講義室・実習室)
- ⑫ 学生会館(武道場)
- ⑬ 屋内運動場(トレーニングルーム)
- ⑭ グラウンド

Google インドアビュー

大学施設の内部を
WEBから覗いてみよう!



大学は敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。
キャンパス禁煙支援委員会

Access Map



- 新潟駅前バスターミナルより「浜浦町線(西循環浜浦町先回り)」で約25分、浜浦町1丁目下車 徒歩1分
- JR越後線関屋駅から徒歩10分
- JR新潟駅から車で約15分



日本歯科大学 新潟生命歯学部

〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 Tel: 025-267-1500

新潟生命歯学部

検索



入学試験要項のご請求はこちらへ